

注3

大学番号：001

事前伺い

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科以外の教育研究上の
基本となる組織（学校教育法第100条）の設置」

注1

北海道大学大学院 医学院 医科学専攻（修士課程）

北海道大学大学院 医学院 医学専攻（博士課程）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学

平成30年5月1日現在

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

北海道大学大学院 医学院

＜医科学専攻（修士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	60
7. その他全般的事項	61

＜医学専攻（博士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	65
2. 授業科目の概要	69
3. 施設・設備の整備状況、経費	75
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	77
5. 教員組織の状況	82
6. 留意事項等に対する履行状況等	111
7. その他全般的事項	112

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 北海道大学

(2) 大 学 名 北海道大学

(3) 大学の位置

〒060-8638

北海道札幌市北区北15条西7丁目

(〒060-0808：北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ナワ トヨハル) 名和 豊春 (平成29年4月1日)		
学 院 長	(ヨシオカ ミツヒロ) 吉岡 充弘 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

〈修士課程〉

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成28年度開設の博士後期課程の場合（平成30年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医学院 医科学専攻（修士課程） 修士（医科学） 修士（公衆衛生学）	医学関係	2年	20人	40人	基礎となる学部等 医学部保健学科、 医学部医学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 20 (-) [-]		人 人 20 (-) [-]		1.55倍	
志願者数	39 0 4	1 (0) [1]	37 (0) [2]	() []		
受験者数	36 0 4	1 (0) [1]	37 (0) [2]	() []		
合格者数	33 0 3	1 (0) [1]	34 (0) [2]	() []		
B 入学者数	29 0 3	1 (0) [1]	32 (0) [2]	() []		
入学定員超過率 B / A	1.5		1.6			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5)－③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年 次	29 [3] (-)	1 [1] (-)	32 [2] (-)	1 [1] (-)	
2 年 次			25 [3] (-)	- [-] (-)	
計			58 [6] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

〈修士課程〉

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	30 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	58 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	88 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{58} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈修士課程〉

2 授業科目の概要

＜大学院 医学院 医科学専攻＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 コア 科目	基本医学研究概論	1前	1			3			1	2	1
	基本実験・研究計画 法	1前	1			4	1				1
	医倫理学序論	1前	1			6	1				1
	トランスレーショナル リサーチ概論	1前	1			1					
(医 科 学 コ ー ス)	基本医学研究法Ⅰ	1前	1			2	1		2		
	基本医学研究法Ⅱ	1前	1			2		2	1		
(公衆衛生学 コ ー ス (2年 コ ー ス))	基礎疫学	1前	1			1	1				
	基礎生物統計学	1前	1				1				
	基礎社会行動科学	1前	1			1	1				
	基礎保健医療管理 学	1前	1						1		
	基礎環境保健学	1前	1			1			1		
	基礎医学概論	1後	1			10			1		
	臨床医学概論	1後	1			7			2		3
(公衆衛生学 コ ー ス (1年 コ ー ス))	基礎疫学	1前	1			1	1				
	基礎生物統計学	1前	1				1				
	基礎社会行動科学	1前	1			1	1				
	基礎保健医療管理 学	1前	1						1		
	基礎環境保健学	1前	1			1			1		
(医 科 学 コ ー ス Ⅱ (必修 科目Ⅱ))	公開発表演習	1通	1			1		1	3		
	研究発表技法Ⅰ	1・2 通	1			52	28	19	62		
	研究発表技法Ⅱ	1・2 通	2			52	28	19	62		
	基本医学研究Ⅰ	1・2 通	4			52	28	19	62		
	基本医学研究Ⅱ	1・2 通	6			52	28	19	62		

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 コア 科目	基本医学研究概論	1前	1			1			2	1	1
	基本実験・研究計画 法	1前	1			5					1
	医倫理学序論	1前	1			3	1				2
	トランスレーショナル リサーチ概論	1前	1			2					1
(医 科 学 コ ー ス Ⅰ (必修 科目Ⅰ))	基本医学研究法Ⅰ	1前	1			2	1	1	1		
	基本医学研究法Ⅱ	1前	1			3	1	1	5		
(公衆衛生学 コ ー ス (2年 コ ー ス Ⅰ (必修 科目Ⅰ))	基礎疫学	1前	1			1	1		2		
	基礎生物統計学	1前	1								1
	基礎社会行動科学	1前	1			1			1		
	基礎保健医療管理 学	1前	1			1			1		
	基礎環境保健学	1前	1			1			1		
	基礎医学概論	1後	1			5	1	1	1		
	臨床医学概論	1後	1			1	1		2		
(公衆衛生学 コ ー ス (1年 コ ー ス Ⅰ (必修 科目Ⅰ))	基礎疫学	1前	1			1	1		2		
	基礎生物統計学	1前	1								1
	基礎社会行動科学	1前	1			1			1		
	基礎保健医療管理 学	1前	1			1			1		
	基礎環境保健学	1前	1			1			1		
(医 科 学 コ ー ス Ⅱ (必修 科目Ⅱ))	公開発表演習	1通	1			1					
	研究発表技法Ⅰ	1・2 通	1			46	28	13	74		
	研究発表技法Ⅱ	1・2 通	1			46	28	13	74		
	基本医学研究	1・2 通	10			45	28	13	74		

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(公衆衛生学 コース(2年 コース)) 必修科目Ⅱ	公開発表演習	1通	1			1		1	3		
	研究発表技法Ⅰ	1・2 通	1			5	5		7		
	研究発表技法Ⅱ	1・2 通	2			5	5		7		
	基本公衆衛生学研究Ⅰ	1・2 通	4			5	5		7		
	基本公衆衛生学研究Ⅱ	1・2 通	6			5	5		7		
(公衆衛生学 コース(1年 コ ー ス)) 必修科目Ⅱ	研究発表技法Ⅰ	1通	1			5	5		7		
	研究発表技法Ⅱ	1通	2			5	5		7		
	基本公衆衛生学研究Ⅰ	1通	4			5	5		7		
	基本公衆衛生学研究Ⅱ	1通	6			5	5		7		
(医 科 選 択 科 目 コ ー ス)	基本医学総論	1・2 前・ 後		2		52	28	19	62		
	臨床ゲノミクス概論	1通		2		5	1			2	
	臨床情報工学	2通		1			1			4	
	臨床疫学	2通		2		1	1			1	
	臨床シーケンス技 法	2通		2		1		1		1	
	臨床病理・検査医学	1前		1		1	2	2		2	
	基礎医学概論	1後		1			10		1		
	臨床医学概論	1後		1		7			2	3	
(公衆衛生学 コース 選 択 科 目 コ ー ス・1年 コ ー ス 共 通)	応用疫学(疫学研究 方法論)	1・2 前・ 後		1		1					
	応用疫学(臨床研究 方法論)	1・2 前・ 後		1		1					
	応用疫学(研究デザ イン立案演習)	1・2 前・ 後		1		1	2				
	応用疫学(EBM演 習)	1・2 前・ 後		1		1	1				
	応用生物統計学(観 察研究の統計解析)	1・2 前・ 後		1			1				
	応用生物統計学(臨 床研究統計解析)	1・2 前・ 後		1			1				

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(公衆衛生学 コース(2年 コース)) 必修科目Ⅱ	公開発表演習	1通	1			1					
	研究発表技法Ⅰ	1・2 通	1			6	2		17		
	研究発表技法Ⅱ	1・2 通	2			6	2		17		
	基本公衆衛生学研究	1・2 通	10			6	2		17		
(公衆衛生学 コース(1年 コ ー ス)) 必修科目Ⅱ	研究発表技法Ⅰ	1通	1			6	2		17		
	研究発表技法Ⅱ	1通	2			6	2		17		
	基本公衆衛生学研究	1通	10			6	2		17		
(医 科 選 択 科 目 コ ー ス)	基本医学総論	1・2 前・ 後		2		46	28	13	72		4
	臨床ゲノミクス概論	1通		2		2	3		1		3
	臨床情報工学	2通		1		2			2		1
	臨床疫学	2通		2						1	
	臨床シーケンス技 法	2通		2		1			1		2
	臨床病理・検査医学	1前		1		1					4
	基礎医学概論	1後		1		5	1	1	1		
	臨床医学概論	1後		1		1	1		2		
(公衆衛生学 コース 選 択 科 目 コ ー ス・1年 コ ー ス 共 通)	応用疫学(公衆衛生 総論)	1・2 前・ 後		1		1					
	応用疫学(疫学研究 の実際)	1・2 前・ 後		1		1	1		2		
	応用疫学(研究デザ イン立案演習)	1・2 前・ 後		1		1	1		2		
	応用疫学(EBM演 習)	1・2 前・ 後		1		1	1		2		
(公衆衛生学 コース 選 択 科 目 コ ー ス・1年 コ ー ス 共 通)	応用生物統計学(臨 床研究統計解析)	1・2 前・ 後		1							1

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(公衆衛生学コース・2年コース・1年コース共通)	応用生物統計学 (データ解析演習)	1・2 前・ 後		1			1				
	応用社会行動科学 (健康行動科学)	1・2 前・ 後		1		1	1				
	応用社会行動科学 (生命倫理学)	1・2 前・ 後		1						1	
	応用社会行動科学 (医療コミュニケー ション学)	1・2 前・ 後		1		1	1				
	応用社会行動科学 (精神保健学)	1・2 前・ 後		1		1	2				
	応用社会行動科学 (健康スポーツ・体力 科学)	1・2 前・ 後		1		1				1	
	応用社会行動科学 (健康栄養学)	1・2 前・ 後		1		1					2
	応用社会行動科学 (地域保健学)	1・2 前・ 後		1							
	応用社会行動科学 (地域医療学)	1・2 前・ 後		1		1	1				
	応用保健医療管理 学(医療政策学)	1・2 前・ 後		1					1		
	応用保健医療管理 学(医療経済学)	1・2 前・ 後		1					1		
	応用保健医療管理 学(医療安全管理学)	1・2 前・ 後		1						1	
	応用保健医療管理 学(医療情報学)	1・2 前・ 後		1						1	
	応用保健医療管理 学(医療マネジメント 学)	1・2 前・ 後		1						1	
	応用保健医療管理 学(レギュラトリー・サ イエンス)	1・2 前・ 後		1		1					
	応用環境保健学(産 業保健・環境毒性学)	1・2 前・ 後		1		1			1		
	応用環境保健学(感 染疫学)	1・2 前・ 後		1		1			1		

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(公衆衛生学コース・2年コース・1年コース共通)	応用生物統計学 (Causal Influence in Statistics)	1・2 前・ 後		1			1				
	応用生物統計学 (Introduction to R)	1・2 前・ 後		1			1			1	
	応用社会行動科学 (生命倫理学)	1・2 前・ 後		1							1
	応用社会行動科学 (法医学)	1・2 前・ 後		1						1	
	応用社会行動科学 (精神保健学)	1・2 前・ 後		1		1	1			1	
	応用社会行動科学 (健康増進学)	1・2 前・ 後		1			2				
	応用社会行動科学 (地域医療学)	1・2 前・ 後		1		1	1			1	
	応用保健医療管理 学(Cost Effectiveness Analysis)	1・2 前・ 後		1			1			1	
	応用保健医療管理 学(人口学)	1・2 前・ 後		1			1			1	
	応用保健医療管理 学(医療情報・安全 管理学)	1・2 前・ 後		1			1				1
	応用保健医療管理 学(Introduction to Mathematical Modeling)	1・2 前・ 後		1			1				
	応用保健医療管理 学(レギュラトリー・サ イエンス)	1・2 前・ 後		1		1					
	応用環境保健学(産 業保健学)	1・2 前・ 後		1		1				1	
	応用環境保健学(感 染疫学)	1・2 前・ 後		1		1				1	

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(公衆衛生学コース (2年コース・1年コース共通) 選択科目)	応用環境保健学(環境健康学)	1・2 前・後		1							1
	応用環境保健学(国際保健医学)	1・2 前・後		1							1
	応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)	1・2 前・後		1		1			1		

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(公衆衛生学コース (2年コース・1年コース共通) 選択科目)	応用環境保健学 (Infections Disease Modeling I)	1・2 前・後		1		1					
	応用環境保健学 (Infections Disease Modeling II)	1・2 前・後		1		1					
	応用環境保健学 (Emerging Infections Diseases)	1・2 前・後		1		1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通コア科目	基本医学研究概論	1前	1			2			2	1	1
	基本実験・研究計画法	1前	1			5	1				
	医倫理学序論	1前	1			7	1				1
	トランスレーショナルリサーチ概論	1前	1			1					
(医科学コース) 必修科目Ⅰ	基本医学研究法Ⅰ	1前	1			2	1	1	1		
	基本医学研究法Ⅱ	1前	1			3			1		
(公衆衛生学コース) (2年コース) 必修科目Ⅰ	基礎疫学	1前	1			1	1		3		1
	基礎生物統計学	1前	1				1				
	基礎社会行動科学	1前	1			1	1				
	基礎保健医療管理学	1前	1			1			1		
	基礎環境保健学	1前	1			1			1		
	基礎医学概論	1後	1			1			1		
	臨床医学概論	1後	1			1			1		
(公衆衛生学コース) (1年コース) 必修科目Ⅰ	基礎疫学	1前	1			1	1		3		1
	基礎生物統計学	1前	1				1				
	基礎社会行動科学	1前	1			1	1				
	基礎保健医療管理学	1前	1			1			1		
	基礎環境保健学	1前	1			1			1		
(医科学コース) 必修科目Ⅱ	公開発表演習	1通	1			1	1		3		
	研究発表技法Ⅰ	1・2通	1			49	32	16	69		
	研究発表技法Ⅱ	1・2通	1			49	32	16	69		
	基本医学研究	1・2通	10			48	32	16	69		
(公衆衛生学コース) (2年コース) 必修科目Ⅱ	公開発表演習	1通	1			1	1		3		
	研究発表技法Ⅰ	1・2通	1			6	4		8		
	研究発表技法Ⅱ	1・2通	2			6	4		8		
	基本公衆衛生学研究	1～2通	10			6	4		8		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(公衆衛生学コースⅡ) (必修科目Ⅱ)	研究発表技法Ⅰ	1通	1			6	4		8		
	研究発表技法Ⅱ	1通	2			6	4		8		
	基本公衆衛生学研究	1通	10			6	4		8		
(医科選択コース)	基本医学総論	1・2前・後		2		49	32	16	69		
	臨床ゲノミクス概論	1通		2		3	3	1	1		3
	臨床情報工学	2通		1			1		1		5
	臨床疫学	2通		2		1	1				1
	臨床シーケンス技法	2通		2					1		2
	臨床病理・検査医学	1前		1		1		1			4
	基礎医学概論	1後		1		1			1		
	臨床医学概論	1後		1		1			1		
年2(	応用疫学(公衆衛生総論)	1・2前・後		1		1					
	応用疫学(疫学研究の実践)	1・2前・後		1		1	1		3		1
	応用疫学(研究デザイン立案演習)	1・2前・後		1		1	1		3		1
	応用疫学(EBM演習)	1・2前・後		1		1	1		3		1
	応用生物統計学(創薬発見科学)	1・2前・後		1							1
	応用生物統計学(臨床研究統計解析)	1・2前・後		1			1				
	応用生物統計学(生物情報学と計算生物学)	1・2前・後		1							1
	応用社会行動科学(健康行動科学)(未開講)	1・2前・後		1		1	1				
	応用社会行動科学(生命倫理学)	1・2前・後		1							1
	応用社会行動科学(法医学)	1・2前・後		1					1		
	応用社会行動科学(精神保健学)	1・2前・後		1		1					
	応用社会行動科学(健康増進学)	1・2前・後		1		2					

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	応用社会行動科学 (地域保健活動)	1・2 前・ 後		1							3
	応用社会行動科学 (地域医療学)	1・2 前・ 後		1		1	1				
	応用保健医療管理 学(医療政策学)(未 開講)	1・2 前・ 後		1					1		
	応用保健医療管理 学(人口学)	1・2 前・ 後		1		1			1		
	応用保健医療管理 学(医療情報・安全 管理学)	1・2 前・ 後		1		1					1
	応用保健医療管理 学(医療マネジメント 学)	1・2 前・ 後		1							1
	応用保健医療管理 学(レギュラトリー・サ イエンス)	1・2 前・ 後		1		1					
	応用環境保健学(産 業保健学)	1・2 前・ 後		1		1			1		
	応用環境保健学(感 染症疫学)	1・2 前・ 後		1		1			1		
	応用環境保健学(環 境化学物質と人びと の健康)	1・2 前・ 後		1							6
	応用環境保健学(国 際保健医学)	1・2 前・ 後		1					1		1
	応用環境保健学(環 境と子どもの健康・ 発達)	1・2 前・ 後		1							5
	応用環境保健学(環 境適応学総論)	1・2 前・ 後		1							6
	応用環境保健学(環 境適応学特論)	1・2 前・ 後		1							7
	応用環境保健学(環 境計量学特論)	1・2 前・ 後		1							6

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

〈修士課程〉

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

【共通コア科目】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基本医学研究概論」の専任教員等の配置を「教授3から教授2」「助教1から助教2」「助手2から助手1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基本実験・研究計画法」の専任教員等の配置を「教授4から教授5」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「医倫理学序論」の専任教員等の配置を「教授6から教授7」に変更。

【必修科目Ⅰ（医科学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基本医学研究法Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0から講師1」「助教2から助教1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基本医学研究法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2から教授3」「講師2から講師0」に変更。

【必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））】

- ・教育課程を充実させるため、「基礎疫学」の専任教員等の配置を「助教0から助教3」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「基礎保健医療管理学」の専任教員等の配置を「教授0から教授1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎医学概論」の専任教員等の配置を「教授10から教授1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床医学概論」の専任教員等の配置を「教授7から教授1」「助教2から助教1」「兼任・兼任教員3から兼任・兼任教員0」に変更。

【必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））】

- ・教育課程を充実させるため、「基礎疫学」の専任教員等の配置を「助教0から助教3」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「基礎保健医療管理学」の専任教員等の配置を「教授0から教授1」に変更。

【必修科目Ⅱ（医科学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「公開発表演習」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「講師1から講師0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授52から教授49」「准教授28から准教授32」「講師19から講師16」「助教62から助教69」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授52から教授49」「准教授28から准教授32」「講師19から講師16」「助教62から助教69」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」へ統合により新設し、「教授48、准教授32、講師16、助教69」の専任教員等を配置。

【必修科目Ⅱ（公衆衛生学コース（2年コース））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「公開発表演習」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「講師1から講師0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5から教授6」「准教授5から准教授4」「助教7から助教8」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5から教授6」「准教授5から准教授4」「助教7から助教8」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」へ統合により新設し、「教授6、准教授4、助教8」の専任教員等を配置。

【必修科目Ⅱ（公衆衛生学コース（1年コース））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5から教授6」「准教授5から准教授4」「助教7から助教8」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5から教授6」「准教授5から准教授4」「助教7から助教8」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」へ統合により新設し、「教授6、准教授4、助教8」の専任教員等を配置。

【選択科目（医科学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基本医学総論」の専任教員等の配置を「教授52から教授49」「准教授28から准教授32」「講師19から講師16」「助教62から助教69」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床ゲノミクス概論」の専任教員等の配置を「教授5から教授3」「准教授1から准教授3」「講師0から講師1」「助教0から助教1」「兼任・兼任教員2から兼任・兼任教員3」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床情報工学」の専任教員等の配置を「助教0から助教1」「兼任・兼任教員4から兼任・兼任教員5」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床シークエンス技法」の専任教員等の配置を「教授1から教授0」「講師1から講師0」「助教0から助教1」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員2」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床病理・検査医学」の専任教員等の配置を「准教授2から准教授0」「講師2から講師1」「兼任・兼任教員2から兼任・兼任教員4」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎医学概論」の専任教員等の配置を「教授10から教授1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床医学概論」の専任教員等の配置を「教授7から教授1」「助教2から助教1」「兼任・兼任教員3から兼任・兼任教員0」に変更。

【選択科目（公衆衛生学コース（2年コース・1年コース共通））】

- ・「応用疫学（疫学研究方法論）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用疫学（公衆衛生総論）」に題目変更。
- ・「応用疫学（臨床研究方法論）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用疫学（疫学研究の実際）」に題目変更。
- ・教育課程を充実させるため、専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「助教0から助教3」「兼任・兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「応用疫学（研究デザイン立案演習）」の専任教員等の配置を「准教授2から准教授1」「助教0から助教3」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「応用疫学（EBM演習）」の専任教員等の配置を「助教0から助教3」「兼任・兼任教員0、兼任・兼任教員1」に変更。
- ・「応用生物統計学（観察研究の統計解析）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用生物統計学（創薬発見科学）」に題目変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・「応用生物統計学（データ解析演習）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用生物統計学（生物情報学と計算生物学）」に題目変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。

- ・「応用社会行動科学（医療コミュニケーション学）」を講義科目と教育内容を一致させるため「応用社会行動科学（法医学）」に科目変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、専任教員の配置を「教授1から教授0」、「准教授1から准教授0」、「助教0から助教1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「応用社会行動科学（精神保健学）」の専任教員等の配置を「准教授2から准教授0」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「応用社会行動科学（健康スポーツ・体力科学）」および「応用社会行動科学（健康栄養学）」を「応用社会行動科学（健康増進学）」へ統合により新設し、「教授2」を配置。
- ・「応用社会行動科学（地域保健学）」を講義科目と教育内容を一致させるため「応用社会行動科学（地域保健活動）」に科目変更。
- ・教育課程を充実させるため、専任教員等の配置を「兼任・兼任教員2から兼任・兼任教員3」に変更。
- ・「応用保健医療管理学（医療経済学）」を講義科目と教育内容を一致させるため「応用保健医療管理学（人口学）」に科目変更。
- ・教育課程を充実させるため、専任教員等の配置を「教授0から教授1」からに変更。

- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「応用保健医療管理学（医療安全管理学）」および「応用保健医療管理学（医療情報学）」を「応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）」へ統合により新設し、「教授1、兼任・兼任教員1」を配置。
- ・「応用環境保健学（産業保健・環境毒性学）」を講義科目と教育内容を一致させるため「応用環境保健学（産業保健学）」に科目変更。
- ・「応用環境保健学（環境健康学）」を講義科目と教育内容を一致させるため「応用環境保健学（環境化学物質と人びとの健康）」に科目変更。
- ・教育課程を充実させるため、専任教員等の配置を「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員6」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「応用環境保健学（国際保健医学）」の専任教員等の配置を「助教0から助教1」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「応用環境保健学（国際感染症学・人獣共通感染症学）」を「応用環境保健学（感染症疫学）」へ統合。
- ・「応用環境保健学（環境と子どもの健康・発達）」を新設し、「兼任・兼任教員5」を配置
- ・「応用環境保健学（環境適応学総論）」を新設、「兼任・兼任教員6」を配置
- ・「応用環境保健学（環境適応学特論）」を新設、「兼任・兼任教員7」を配置
- ・「応用環境保健学（環境計量学特論）」を新設、「兼任・兼任教員6」を配置

【平成30年度】

【共通コア科目】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基本医学研究概論」の専任教員等の配置を「教授2から教授1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基本実験・研究計画法」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「医倫理学序論」の専任教員等の配置を「教授7から教授3」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員2」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「トランスレーショナルリサーチ概論」の専任教員等の配置を「教授1から教授2」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。

【必修科目Ⅰ（医科学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基本医学研究法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「講師0から講師1」「助教1から助教5」に変更。

【必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（2年コース））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎疫学」の専任教員等の配置を「助教3から助教2」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎生物統計学」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎社会行動科学」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「助教0から助教1」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「基礎医学概論」の専任教員等の配置を「教授1から教授5」「准教授0から准教授1」「講師0から講師1」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「臨床医学概論」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「助教1から助教2」に変更。

【必修科目Ⅰ（公衆衛生学コース（1年コース））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎疫学」の専任教員等の配置を「助教3から助教2」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎生物統計学」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎社会行動科学」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「助教0から助教1」に変更。

【必修科目Ⅱ（医科学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「公開発表演習」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「助教3から助教0」に変更。（教授1名で実施）
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授49から教授46」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教74」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授49から教授46」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教74」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより「基本医学研究」の専任教員等の配置を「教授48から教授45」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教74」に変更。

【必修科目Ⅱ（公衆衛生学コース（2年コース））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「公開発表演習」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」「助教3から助教0」に変更。（教授1名で実施）
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授2」「助教8からから助教17」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授2」「助教8からから助教17」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基本公衆衛生学研究」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授2」「助教8からから助教17」に変更。

【必修科目Ⅱ（公衆衛生学コース（1年コース））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授2」「助教8から助教17」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授2」「助教8から助教17」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基本公衆衛生学研究」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授2」「助教8から助教17」に変更。

【選択科目（医科学コース）】

- ・教育課程を充実させるため、「基本医学総論」の専任教員等の配置を「教授49から教授46」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教72」に兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員4に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床ゲノミクス概論」の専任教員等の配置を「教授3から教授2」「講師1から講師0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床情報工学」の専任教員等の配置を「教授0から教授2」「准教授1から准教授0」「助教1から助教2」に兼任・兼任教員5から兼任・兼任教員1に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床疫学」の専任教員等の配置を「教授1から教授0」「准教授1から准教授0」に変更。（兼任・兼任教員1名で実施）
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床シーケンス技法」の専任教員等の配置を「教授0から教授1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床病理・検査医学」の専任教員等の配置を「講師1から講師0」に変更。（教授1、兼任・兼担4で実施）
- ・教育実施体制の見直しにより、「基礎医学概論」の専任教員等の配置を「教授1から教授5」「准教授0から准教授1」「講師0から講師1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床医学概論」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「助教1から助教2」に変更。

【選択科目（公衆衛生学コース（2年コース・1年コース共通））】

- ・教育実施体制の見直しにより、「応用疫学（疫学研究の実際）」の専任教員等の配置を「助教3から助教2」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「応用疫学（研究デザイン立案演習）」の専任教員等の配置を「助教3から助教2」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「応用疫学（EBM演習）」の専任教員等の配置を「助教3から助教2」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「応用生物統計学（臨床研究統計解析）」の専任教員の配置を「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・「応用生物統計学(Causal Influence in Statistics)」を新設し、「教授1」を配置。
- ・「応用生物統計学(Introduction to R)」を新設し、「教授1、助教1」を配置
- ・教育課程を充実させるため、「応用社会行動科学（精神保健学）」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「助教0から助教1」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「応用社会行動科学（地域医療学）」の専任教員等の配置を「助教0から助教1」に変更。
- ・「応用保健医療管理学（医療政策学）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用保健医療管理学（Cost Effectiveness Analysis）」に題目変更の上、教育実施体制の見直しにより、専任教員等の配置を「教授0から教授1」に変更。
- ・「応用保健医療管理学（Introduction to Mathematical Modeling）」を新設し、「教授1」を配置。
- ・「応用環境保健学（環境適応学総論）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用環境保健学（Infectious Disease Modeling I）」に題目変更。教育実施体制の見直しにより、専任教員等の配置を「教授0から教授1」「兼任・兼任教員6から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・「応用環境保健学（環境適応学特論）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用環境保健学（Infectious Disease Modeling II）」に題目変更。教育実施体制の見直しにより、専任教員等の配置を「教授0から教授1」「兼任・兼任教員7から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・「応用環境保健学（環境計量学特論）」を講義題目と教育内容を一致させるため「応用環境保健学（Emerging Infectious Diseases）」に題目変更。教育実施体制の見直しにより、専任教員等の配置を「教授0から教授1」「兼任・兼任教員6から兼任・兼任教員0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	34 科目	0 科目	66 科目	29 科目 [Δ3]	30 科目 [Δ4]	0 科目 [0]	59 科目 [Δ7]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

〈修士課程〉

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	基本医学研究Ⅰ	4	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基本医学研究（10単位）として開講（29）
2	基本医学研究Ⅱ	6	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基本医学研究（10単位）として開講（29）
3	基本公衆衛生学研究Ⅰ	4	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基本公衆衛生学研究（10単位）として開講（29）
4	基本公衆衛生学研究Ⅱ	6	1～2通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基本公衆衛生学研究（10単位）として開講（29）
5	基本公衆衛生学研究Ⅰ	4	1通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基本公衆衛生学研究（10単位）として開講（29）
6	基本公衆衛生学研究Ⅱ	6	1通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基本公衆衛生学研究（10単位）として開講（29）
7	応用社会行動科学（健康スポーツ・体力科学）	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、応用社会行動科学（健康増進学）として開講。修了要件に影響なし。（29）
8	応用社会行動科学（健康栄養学）	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、応用社会行動科学（健康増進学）として開講。修了要件に影響なし。（29）
9	応用保健医療管理学（医療安全管理学）	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）として開講。修了要件に影響なし。（29）
10	応用保健医療管理学（医療情報学）	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）として開講。修了要件に影響なし。（29）
11	応用環境保健学（国際感染症学・人獣共通感染症学）	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、応用環境保健学（感染症疫学）と統合。修了要件に影響なし。（29）

12	応用生物統計学（観察研究の統計解析）	1	1・2前・後	専門	選択	平成29年度開設時において、「応用生物統計学(創薬発見科学)」に講義題目を変更し実施。 平成30年度に、上記科目について、効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「創薬科学特別講義Ⅰ（ライフイノベーションセミナー）」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)
13	応用生物統計学（データ解析演習）	1	1・2前・後	専門	選択	平成29年度開設時において、「応用生物統計学(生物情報学と計算生物学)」に講義題目を変更し実施。 平成30年度に、上記科目について、効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「バイオインフォマティクスと計算生物学」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)
14	応用社会行動科学(健康行動科学)	1	1・2前・後	専門	選択	平成29年度開設時において、未開講であった当該科目について、平成30年度に、効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「社会と健康Ⅰ（概論・倫理学科目）～パブリックヘルス総論－研究と活動の最前線」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)
15	応用社会行動科学(地域保健学)	1	1・2前・後	専門	選択	平成29年度開設時において、「応用社会行動科学(地域保健活動)」に講義題目を変更し実施。 平成30年度に、上記科目について、効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「社会と健康Ⅴ～地域保健活動」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)
16	応用保健医療管理学(医療マネジメント学)	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「社会と健康Ⅴ（ヘルスリサーチ科目）～医療マネジメント特講」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)

17	応用環境保健学(環境健康学)	1	1・2前・後	専門	選択	平成29年度開設時において、応用環境保健学(環境化学物質と人びとの健康)に講義題目を変更し実施。 平成30年度に、上記科目について、効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「社会と健康 環境化学物質と人びとの健康」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)
18	応用環境保健学(国際保健医学)	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「社会と健康Ⅲ(環境保健科目)～Global Health and Human Ecology I(国際保健医学と人類生態学Ⅰ)」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。修了要件に影響なし。(30)
19	応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)	1	1・2前・後	専門	選択	効果的かつ効率的な教育を行うため、同様の教育内容で全学開講している大学院共通授業科目「社会と健康Ⅲ(環境保健科目)～環境と子どもの健康・発達」での履修を可能としたことから、当該科目を廃止する。大学院共通授業科目は選択科目として修了要件に参入可能であるため修了要件に影響なし。(30)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については、科目の統合など、全て効果的かつ効率的な教育を行うために実施したものであり、教育内容及び修了要件に影響はない。選択科目の廃止については、全て公衆衛生学コースにかかる内容であり、公衆衛生学コース(2年コース)では5単位、公衆衛生学コース(1年コース)では8単位の修得が修了要件となっているが、27の選択科目が開講されており、影響がないものである。学生に対しては、シラバスにて周知済みである。(29) 廃止した選択科目については、効率的かつ効果的な教育を行うため、同じ内容で全学で開講している大学院共通授業科目での履修を可能としたことから廃止したものであり、教育内容及び修了要件に影響はない。 なお、平成29年度未開講であった「応用社会行動科学(健康行動科学)」については、大学院共通授業科目での開講科目である「社会と健康Ⅰ(概論・倫理学科目)～パブリックヘルス総論ー研究と活動の最前線」で対応、「応用保健医療管理学(医療政策学)」については、講義題目を変更して「応用保健医療管理学(Cost Effectiveness Analysis)」として開講し対応している。 学生に対しては、シラバスにて周知済みである。(30)
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	19	=	28.78%
設置時の計画の授業科目数の計(A)		66		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(北海道大学)

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体			
	校 舎 敷 地	923,867 m ²	0 m ²	0 m ²	923,867 m ²				
	運動場用地	175,488 m ²	0 m ²	0 m ²	175,488 m ²				
	小 計	1,099,355 m ²	0 m ²	0 m ²	1,099,355 m ²				
	そ の 他	659,049,323 m ²	0 m ²	0 m ²	659,049,323 m ²				
	合 計	660,148,678 m ²	0 m ²	0 m ²	660,148,678 m ²				
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体			
		625,868 776,494 m ²	0 m ²	0 m ²	625,868 776,494 m ²	計算誤りによる修正 (30)			
		(625,868 776,494 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(625,868 776,494 m ²)				
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		68室	0室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		医学院			136 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学院単位での特定が不 能なため、北海道大学 全体の数 除却及び新規購入によ る修正 (30)	
		医学院	3,838,813 3,740,130 〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 〔20,170〕 〔20,825〕	89,444 90,076	0		0
	計	3,838,813 3,740,130 〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 〔20,170〕 〔20,825〕	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
		3,838,813 3,740,130 〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 〔20,170〕 〔20,825〕	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 〔20,170〕 〔20,825〕	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
		3,838,813 3,740,130 〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 〔20,170〕 〔20,825〕	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
(6)図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		同上	
		33,542 m ²		2,224 席		425 万冊			
(7)体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				同上	
		7,429 m ²		テニスコート(11)、野球場(3)、プール(2)、ホッケー・ハンドボール場(1)、陸上競技場(1)、サッカー・ラグビー場(1)、アメリカンフットボール・ラグビー場(1)、スポーツトレーニングセンター(1)、武道場(1)、剣道場(1)、弓道場(1)、洋弓場(1)、ライフル射撃場(1)、ボート艇庫(1)、ヨット艇庫(1)、馬場(1)、山小屋(5)					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称		国立大学法人 北海道大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は称号	平均入学 定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
文学部						1.04	S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部						1.07	S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50	③10	220	学士(教育学)	1.07	S24		
法学部						1.05	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	②10/③10	850	学士(法学)	1.05	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)	1.07	S28		
経営学科	4	90		360	学士(経営学)	1.06	S41		
理学部						1.03	S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.02	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.03	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.04	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.04	H6		
医学部						－	S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720	学士(看護学/保健学)	1.03	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
歯学部						0.99	S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	0.99	S42		
薬学部						－	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)	1.03	H18		
薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.03	H18		
工学部			③10			1.04	S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.05	H17		編入学定員は4学科共通であるため、収容定員には含めていない
情報工学科	4	180		720	学士(工学)	1.04	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.06	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.03	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)	1.04	H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)	1.04	H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)	1.04	S24		
獣医学部						1.03	S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.03	H24		

水産学部						1.01	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科		4	54		216	学士(水産学)	1.01	H18	
海洋資源科学科		4	53		212	学士(水産学)	1.01	H18	
増殖生命科学科		4	54		216	学士(水産学)	1.01	H18	
資源機能化学科		4	54		216	学士(水産学)	1.01	H18	
文学研究科							S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学専攻	M	2	14		28	修士(文学)	0.53	H12	
	D	3	6		18	博士(文学)	0.82	H12	
歴史地域文化学専攻	M	2	28		56	修士(文学/学術)	0.80	H12	
	D	3	11		33	博士(文学/学術)	0.81	H12	
言語文学専攻	M	2	29		58	修士(文学)	0.98	H12	
	D	3	11		33	博士(文学)	1.08	H12	
人間文化科学研究科	M	2	19		38	修士(文学)	1.65	H12	
	D	3	7		21	博士(文学)	1.04	H12	
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学専攻	M	2	20		40	修士(法学)	0.97	H12	
	D	3	15		45	博士(法学)	0.35	H12	
法律実務専攻	P	3	50		150	法務博士(専門職)	0.71	H16	
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学専攻	M	2	—		—	修士(医科学)	—	H14	
医学専攻	D	4	—		—	博士(医学)	—	H19	
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学専攻	M	2	48		96	修士(工学/情報科学)	1.15	H26	
	D	3	12		36	博士(工学/情報科学)	0.63	H26	
情報ソフトウェア専攻	M	2	39		78	修士(工学/情報科学)	1.21	H16	
	D	3	8		24	博士(工学/情報科学)	0.95	H16	
生命人間情報科学専攻	M	2	33		66	修士(工学/情報科学)	0.96	H16	
	D	3	6		18	博士(工学/情報科学)	0.61	H16	
データネットワーク専攻	M	2	30		60	修士(工学/情報科学)	1.21	H16	
	D	3	8		24	博士(工学/情報科学)	1.20	H16	
システム情報科学専攻	M	2	27		54	修士(工学/情報科学)	1.23	H16	
	D	3	8		24	博士(工学/情報科学)	1.37	H16	
水産科学院							H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学専攻	M	2	43		86	修士(水産科学)	1.11	H17	
	D	3	17		51	博士(水産科学)	0.31	H17	
海洋応用生命科学専攻	M	2	47		94	修士(水産科学)	1.29	H17	
	D	3	18		54	博士(水産科学)	0.58	H17	

環境科学院							H17	札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学専攻	M	2	44		88	修士(環境科学)	0.74	H17	
	D	3	15		45	博士(環境科学)	0.50	H17	
地球圏科学専攻	M	2	35		70	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	14		42	博士(環境科学)	0.40	H17	
生物圏科学専攻	M	2	52		104	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	23		69	博士(環境科学)	0.59	H17	
環境物質科学専攻	M	2	28		56	修士(環境科学)	1.05	H17	
	D	3	11		33	博士(環境科学)	0.57	H17	
理学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
数学専攻	M	2	46		92	修士(理学)	0.74	H18	
	D	3	17		51	博士(理学)	0.54	H18	
物性物理学専攻	M	2	24		48	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	10		30	博士(理学)	0.66	H18	
宇宙理学専攻	M	2	20		40	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	9		27	博士(理学)	1.03	H18	
自然史科学専攻	M	2	39		78	修士(理学)	1.29	H18	
	D	3	20		60	博士(理学)	0.80	H18	
農学院							H18	札幌市北区北9条西9丁目	
共生基盤学専攻	M	2	40		80	修士(農学)	0.97	H18	
	D	3	8		24	博士(農学)	1.24	H18	
生物資源科学専攻	M	2	42		84	修士(農学)	1.18	H18	
	D	3	14		42	博士(農学)	0.59	H18	
応用生物科学専攻	M	2	18		36	修士(農学)	1.85	H18	
	D	3	6		18	博士(農学)	0.94	H18	
環境資源学専攻	M	2	42		84	修士(農学)	1.29	H18	
	D	3	14		42	博士(農学)	0.56	H18	
生命科学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学専攻	M	2	116		232	修士(生命科学/農科学)	0.99	H18	
	D	3	38		114	博士(生命科学/農科学)	0.82	H18	
臨床薬学専攻	D	4	6		24	博士(臨床薬学)	1.37	H24	
リフトマター専攻	M	2	16		32	修士(リフトマター科学)	1.50	H30	
	D	3	6		18	博士(リフトマター科学)	0.83	H30	
教育学院							H19	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学専攻	M	2	45		90	修士(教育学)	0.99	H19	
	D	3	21		63	博士(教育学)	0.69	H19	
国際広報ｽﾍﾞｲｱ・観光学院							H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報ｽﾍﾞｲｱ専攻	M	2	27		54	修士(国際広報ｽﾍﾞｲｱ科学)	1.12	H19	
	D	3	14		42	博士(国際広報ｽﾍﾞｲｱ科学)	0.47	H19	
観光創造専攻	M	2	15		30	修士(観光学)	1.09	H19	
	D	3	3		9	博士(観光学)	0.99	H19	
保健科学院							H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学専攻	M	2	40		80	修士(保健科学/看護学)	1.14	H20	
	D	3	10		30	博士(保健科学/看護学)	0.93	H22	

工学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学専攻	M	2	33	66	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	9	27	博士(工学)	0.77	H22		
材料科学専攻	M	2	39	78	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学専攻	M	2	27	54	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システム工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.46	H22		
IT・環境システム専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
量子理工学専攻	M	2	20	40	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.60	H22		
環境フィールド工学専攻	M	2	24	48	修士(工学)	1.22	H22		
	D	3	6	18	博士(工学)	0.88	H22		
北方圏環境政策工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.09	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
建設都市空間工学専攻	M	2	22	44	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム専攻	M	2	27	54	修士(工学)	0.81	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境創生工学専攻	M	2	28	56	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境循環システム専攻	M	2	18	36	修士(工学)	1.27	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	2.00	H22		
共同資源工学専攻	M	2	10	20	修士(工学)	1.35	H29		
総合化学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学専攻	M	2	129	258	修士(総合化学)	1.18	H22		
	D	3	38	114	博士(理学/工学/総合化学)	1.10	H22		
経済学院							S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営専攻	M	2	35	70	修士(経済学/経営学)	1.31	H12		
	D	3	8	24	博士(経済学/経営学)	0.86	H12		
会計情報専攻	P	2	20	40	会計修士(専門職)	1.05	H17		
医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医科学専攻	M	2	20	40	修士(医科学/公衆衛生学)	1.55	H29		
医学専攻	D	4	90	360	博士(医学)	1.02	H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学専攻	D	4	40	160	博士(歯学)	0.82	H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学専攻	D	4	16	64	博士(獣医学)	0.97	H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医理工学専攻	M	2	12	24	修士(医理工学)	1.12	H29		
	D	3	5	15	博士(医理工学)	1.30	H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	
感染症学専攻	D	4	12	48	博士(感染症学/獣医学)	1.24	H29		

国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目	
国際食資源学専攻	M	2	15		30	修士(食資源学)	1.09	H29	
公共政策学教育部								H17	札幌市北区北9条西7丁目
公共政策学専攻	P	2	30		60	公共政策学修士(専門職)	1.19	H17	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「ー」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医科学院医学専攻（修士課程）>

（１）一①担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任（予定）年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任（予定）年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任（予定）年月> 担当授業科目名
専	教授	有川二郎 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究概論 医倫理学序論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基礎医学概論	専	教授	有川二郎 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究概論 医倫理学序論 基本医学研究	専	教授	有川二郎 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究概論 医倫理学序論 基本医学研究
		秋田弘俊 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 臨床ゲノミクス概論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 臨床医学概論			秋田弘俊 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 臨床ゲノミクス概論 基本医学研究			秋田弘俊 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究
		渥美達也 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 応用社会行動科学（健康栄養学） 臨床医学概論			渥美達也 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 応用社会行動科学（健康増進学）			渥美達也 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 応用社会行動科学（健康増進学）
		荒戸照世 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 応用保健医療管理学（レギュラトリーサイエンス） 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ			荒戸照世 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 基本公衆衛生学研究 応用保健医療管理学（レギュラトリーサイエンス）			荒戸照世 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 基本公衆衛生学研究 応用保健医療管理学（レギュラトリーサイエンス） トランスレーショナルリサーチ概論
		有賀正 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 医倫理学序論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ			有賀正 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 医倫理学序論 基本医学研究			
		石田晋 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ			石田晋 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 医倫理学序論 基本医学研究			石田晋 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究
		岩崎倫政 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 応用社会行動科学（健康スポーツ・体力科学）			岩崎倫政 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 応用社会行動科学（健康増進学）			岩崎倫政 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究 応用社会行動科学（健康増進学）
		岩永敏彦 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本医学研究概論			岩永敏彦 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究			岩永敏彦 <平成29年4月> 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学総論 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	大滝純司 ＜平成29年4月＞	専	教授	大滝純司 ＜平成29年4月＞	専	教授	大滝純司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法
		基礎社会行動科学			基礎社会行動科学			基礎社会行動科学
		基礎医学概論			基礎医学概論			基礎医学概論
		臨床医学概論			臨床医学概論			臨床医学概論
		応用社会行動科学(健康行動科学)			応用社会行動科学(健康行動科学)			応用社会行動科学(健康行動科学)
		応用社会行動科学(地域医療学)			応用社会行動科学(地域医療学)			応用社会行動科学(地域医療学)
					基本医学研究			基本医学研究
					基本公衆衛生学研究			基本公衆衛生学研究
専	教授	大場雄介 ＜平成29年4月＞	専	教授	大場雄介 ＜平成29年4月＞	専	教授	大場雄介 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基本医学研究法Ⅱ			基本医学研究法Ⅱ			基本医学研究法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		臨床シーケンス技法						
専	教授	笠原正典 ＜平成29年4月＞	専	教授	笠原正典 ＜平成29年4月＞	専	教授	笠原正典 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基礎医学概論						
専	教授	神谷温之 ＜平成29年4月＞	専	教授	神谷温之 ＜平成29年4月＞	専	教授	神谷温之 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
		基本医学研究Ⅰ						基礎医学概論
		基本医学研究Ⅱ						
		基礎医学概論						
専	教授	丸藤哲 ＜平成29年4月＞	専	教授	丸藤哲 ＜平成29年4月＞	専		
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究			
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
専	教授	久住一郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	久住一郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	久住一郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		応用社会行動科学(精神保健学)			応用社会行動科学(精神保健学)			応用社会行動科学(精神保健学)
					基本医学研究			基本医学研究
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
専	教授	坂本直哉 ＜平成29年4月＞	専	教授	坂本直哉 ＜平成29年4月＞	専	教授	坂本直哉 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		臨床医学概論						
専	教授	佐々木秀直 ＜平成29年4月＞	専	教授	佐々木秀直 ＜平成29年4月＞	専	教授	佐々木秀直 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		医倫理学序論			基本医学研究			基本医学研究
					医倫理学序論			医倫理学序論
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		臨床ゲノミクス概論						

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	佐邊壽孝 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	教授	篠原信雄 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	教授	清水宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	教授	武富紹信 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	田中伸哉 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本実験・研究計画 法
		臨床ゲノミクス概論
専	教授	田中真樹 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究法Ⅱ
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	玉木長良 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
		臨床医学概論
専	教授	玉腰暁子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基礎疫学
		応用疫学（研究デザ イン立案演習）
		応用疫学（EBM演 習）
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
		基本公衆衛生学研究Ⅰ
		基本公衆衛生学研究Ⅱ
		応用疫学（疫学研究方 法論）
		応用疫学（臨床研究方 法論）

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	佐邊壽孝 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	篠原信雄 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	清水宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	武富紹信 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基本医学研究
専	教授	田中伸哉 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本実験・研究計画 法
		臨床ゲノミクス概論
専	教授	田中真樹 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究法Ⅱ
		基本医学研究
専	教授	玉腰暁子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基礎疫学
専	教授	玉腰暁子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基礎疫学
		応用疫学（研究デザ イン立案演習）
		応用疫学（EBM演 習）
		基本医学研究
		基本実験・研究計画 法
		基本公衆衛生学研究
		応用疫学（公衆衛生 総論）
		応用疫学（疫学研究 の実際）

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	佐邊壽孝 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	篠原信雄 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	清水宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	武富紹信 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	田中伸哉 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本実験・研究計画 法
		臨床ゲノミクス概論
専	教授	田中真樹 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究法Ⅱ
		基本医学研究
専	教授	玉腰暁子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基礎疫学
専	教授	玉腰暁子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		医倫理学序論
		基礎疫学
		応用疫学（研究デザ イン立案演習）
		応用疫学（EBM演 習）
		基本医学研究
		基本実験・研究計画 法
		基本公衆衛生学研究
		応用疫学（公衆衛生 総論）
		応用疫学（疫学研究 の実際）

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	簡井裕之 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	教授	豊嶋崇徳 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	西浦博 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基礎環境保健学
		応用環境保健学(感染症学)
		応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	教授	西村正治 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	畠山鎮次 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	平野聡 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	豊嶋崇徳 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	西浦博 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基礎環境保健学
		応用環境保健学(感染症学)
		基本医学研究
		基礎保健医療管理学
		基本公衆衛生学研究
		応用保健医療管理学(人口学)
		応用環境保健学(産業保健学)
専	教授	西村正治 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	畠山鎮次 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	平野聡 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	豊嶋崇徳 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	教授	西浦博 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基礎環境保健学
		応用環境保健学(感染症学)
		基本医学研究
		基礎保健医療管理学
		基本公衆衛生学研究
		応用保健医療管理学(人口学)
		応用環境保健学(産業保健学)
		応用保健医療管理学(Cost Effectiveness Analysis)
		応用保健医療管理学(Introduction to Mathematical Modeling)
		応用環境保健学(Emerging Infections Diseases)
		応用環境保健学(Infections Disease Modeling I)
		応用環境保健学(Infections Disease Modeling II)
		応用生物統計学(Causal Influence in Statistics)
		応用生物統計学(Introduction to R)
		臨床情報工学
専	教授	畠山鎮次 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	教授	平野聡 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松居喜郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	松居喜郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	松居喜郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	森本裕二 ＜平成29年4月＞	専	教授	森本裕二 ＜平成29年4月＞	専	教授	森本裕二 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	山本有平 ＜平成29年4月＞	専	教授	山本有平 ＜平成29年4月＞	専	教授	山本有平 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	吉岡充弘 ＜平成29年4月＞	専	教授	吉岡充弘 ＜平成29年4月＞	専	教授	吉岡充弘 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	渡辺雅彦 ＜平成29年4月＞	専	教授	渡辺雅彦 ＜平成29年4月＞	専	教授	渡辺雅彦 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基本医学研究概論			基本医学研究概論			基本医学研究概論
		公開発表演習			公開発表演習			公開発表演習
専	教授	福田諭 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本医学総論						
専	教授	安田和則 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本医学総論						
専	教授	櫻本範明 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本医学総論						
専	教授	水上尚典 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本医学総論						
専	教授	瀬谷司 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本医学総論						
専	教授	三輪聡一 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本医学総論						

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	寶金清博 ＜平成29年4月＞	専	教授	寶金清博 ＜平成29年4月＞	専	教授	寶金清博 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	生駒一憲 ＜平成29年4月＞	専	教授	生駒一憲 ＜平成29年4月＞	専	教授	生駒一憲 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	松野吉宏 ＜平成29年4月＞	専	教授	松野吉宏 ＜平成29年4月＞	専	教授	松野吉宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	山下啓子 ＜平成29年4月＞	専	教授	山下啓子 ＜平成29年4月＞	専	教授	山下啓子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	佐藤典宏 ＜平成29年4月＞	専	教授	佐藤典宏 ＜平成29年4月＞	専	教授	佐藤典宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法
		医倫理学序論			医倫理学序論			医倫理学序論
		トランスレーショナルリサーチ概論			トランスレーショナルリサーチ概論			トランスレーショナルリサーチ概論
		臨床疫学			臨床疫学			臨床疫学
					基本医学研究			基本医学研究
					基本公衆衛生学研究			基本公衆衛生学研究
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本公衆衛生学研究Ⅰ						
		基本公衆衛生学研究Ⅱ						
専	教授	橋野聡 ＜平成29年4月＞	専	教授	橋野聡 ＜平成29年4月＞	専	教授	橋野聡 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	廣瀬哲郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	廣瀬哲郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	廣瀬哲郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	清野研一郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	清野研一郎 ＜平成29年4月＞	専	教授	清野研一郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	野口昌幸 ＜平成29年4月＞	専	教授	野口昌幸 ＜平成29年4月＞	専	教授	野口昌幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	野口昌幸 ＜平成29年4月＞	専	教授	野口昌幸 ＜平成29年4月＞	専	教授	野口昌幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	教授	村上正晃 ＜平成29年4月＞	専	教授	村上正晃 ＜平成29年4月＞	専	教授	村上正晃 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	近藤亨 ＜平成29年4月＞	専	教授	近藤亨 ＜平成29年4月＞	専	教授	近藤亨 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ			基本医学研究Ⅰ			基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ			基本医学研究Ⅱ			基本医学研究Ⅱ
			専	教授	安斉俊久 ＜平成29年9月＞	専	教授	安斉俊久 ＜平成29年9月＞
					基本医学総論			基本医学総論
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
			専	教授	小林弘一 ＜平成29年11月＞	専	教授	小林弘一 ＜平成29年11月＞
					基本医学総論			基本医学総論
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
			専	教授	渡利英道 ＜平成30年3月＞	専	教授	渡利英道 ＜平成30年3月＞
					基本医学総論			基本医学総論
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
			専	教授	南須原康行 ＜平成29年9月＞	専	教授	南須原康行 ＜平成29年9月＞
					応用保健医療管理学 （医療情報・安全管理学）			応用保健医療管理学 （医療情報・安全管理学）
					基本医学総論			基本医学総論
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
			専	准教授	外丸詩野 ＜平成29年4月＞	専	准教授	外丸詩野 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究Ⅰ			基本医学研究Ⅰ
			専	准教授	朝倉聡 ＜平成29年4月＞	専	准教授	朝倉聡 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究Ⅰ			基本医学研究Ⅰ
			専	准教授	伊藤陽一 ＜平成29年4月＞			
					研究発表技法Ⅰ			
					研究発表技法Ⅱ			
					基本医学総論			
					基本実験・研究計画法			
			専	准教授	伊藤陽一 ＜平成29年4月＞	専	准教授	伊藤陽一 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学総論			基本医学総論
					基本実験・研究計画法			基本実験・研究計画法
			専	准教授	岩永ひろみ ＜平成29年4月＞	専	准教授	岩永ひろみ ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究Ⅰ			基本医学研究Ⅰ
			専	准教授	大西俊介 ＜平成29年4月＞	専	准教授	大西俊介 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究Ⅰ			基本医学研究Ⅰ

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鬼丸力也 ＜平成29年4月＞	専	准教授	鬼丸力也 ＜平成29年4月＞	専	准教授	鬼丸力也 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	准教授	神山俊哉 ＜平成29年4月＞	専	准教授	神山俊哉 ＜平成29年4月＞	専	准教授	神山俊哉 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	准教授	川畑秀伸 ＜平成29年4月＞	専	准教授	川畑秀伸 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
		基礎社会行動科学			基礎社会行動科学			
		応用社会行動科学(健康行動科学)			応用社会行動科学(健康行動科学)			
		応用社会行動科学(地域医療学)			応用社会行動科学(地域医療学)			
					基本医学研究			
					基本公衆衛生学研究			
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本公衆衛生学研究Ⅰ						
		基本公衆衛生学研究Ⅱ						
		臨床病理・検査医学						
		応用社会行動科学(医療コミュニケーション学)						
専	准教授	北村信人 ＜平成29年4月＞						
		研究発表技法Ⅰ						
		研究発表技法Ⅱ						
		基本医学総論						
		基本医学研究Ⅰ						
専	准教授	木下一郎 ＜平成29年4月＞	専	准教授	木下一郎 ＜平成29年4月＞	専	准教授	木下一郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	准教授	工藤正尊 ＜平成29年4月＞	専	准教授	工藤正尊 ＜平成29年4月＞	専	准教授	工藤正尊 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	准教授	久保大輔 ＜平成29年4月＞	専	准教授	久保大輔 ＜平成29年4月＞	専	准教授	久保大輔 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	准教授	倉島庸 ＜平成29年4月＞	専	准教授	倉島庸 ＜平成29年4月＞	専	准教授	倉島庸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	准教授	小華和証志 ＜平成29年4月＞	専	准教授	小華和証志 ＜平成29年4月＞	専	准教授	小華和証志 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
					基本公衆衛生学研究			基本公衆衛生学研究
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本公衆衛生学研究Ⅰ						

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	今野哲 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	志賀哲 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	七戸俊明 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	寺坂俊介 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	中川伸 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 応用社会行動科学 (精神保健学)
専	准教授	中村幸志 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基礎疫学 応用疫学(研究デザイン立案演習) 応用疫学(EBM演習)
専	准教授	西江渉 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	野田航介 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	南保明日香 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	准教授	古川洋志 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	今野哲 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	志賀哲 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	七戸俊明 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究 臨床ゲノミクス概論
専	准教授	寺坂俊介 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	中川伸 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	中村幸志 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基礎疫学 応用疫学(研究デザイン立案演習) 応用疫学(EBM演習)
専	准教授	西江渉 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	野田航介 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	南保明日香 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	古川洋志 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	今野哲 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	志賀哲 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	七戸俊明 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究 臨床ゲノミクス概論
専	准教授	中村幸志 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基礎疫学 応用疫学(研究デザイン立案演習) 応用疫学(EBM演習)
専	准教授	西江渉 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	野田航介 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	南保明日香 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究 基本医学研究法Ⅱ
専	准教授	古川洋志 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	本間明宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	准教授	矢部一郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		臨床ゲノミクス概論
専	准教授	若尾宏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	准教授	北村秀光 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	准教授	守屋仁彦 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
		基本医学総論
専	准教授	中丸裕爾 ＜平成30年2月＞
		基本医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
専	准教授	橋本大吾 ＜平成30年4月＞
		基本医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
専	講師	山崎美和子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		公開発表演習
専	講師	泉剛 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	講師	及川司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	講師	小野寺康仁 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
専	講師	絹川真太郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	本間明宏 ＜平成29年11月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	矢部一郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		臨床ゲノミクス概論
専	准教授	北村秀光 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	守屋仁彦 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
		基本医学総論
専	准教授	中丸裕爾 ＜平成30年2月＞
		基本医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
専	准教授	山崎美和子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		公開発表演習
専	講師	及川司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	小野寺康仁 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	絹川真太郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	本間明宏 ＜平成29年11月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	矢部一郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		臨床ゲノミクス概論
専	准教授	北村秀光 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	准教授	守屋仁彦 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
		基本医学総論
専	准教授	中丸裕爾 ＜平成30年2月＞
		基本医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
専	准教授	橋本大吾 ＜平成30年4月＞
		基本医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学研究
専	准教授	山崎美和子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	及川司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	小野寺康仁 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	絹川真太郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	近藤健 ＜平成29年4月＞	専	講師	近藤健 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究 臨床ゲノミクス概論			
専	講師	新宮康栄 ＜平成29年4月＞	専	講師	新宮康栄 ＜平成29年4月＞	専	講師	新宮康栄 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	高橋秀尚 ＜平成29年4月＞	専	講師	高橋秀尚 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究			
専	講師	高畑雅彦 ＜平成29年4月＞	専	准教授	高畑雅彦 ＜平成29年4月＞	専	准教授	高畑雅彦 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	谷野美智枝 ＜平成29年4月＞	専	講師	谷野美智枝 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
		臨床病理・検査医学			臨床病理・検査医学			
					基本医学研究			
専	講師	津田真寿美 ＜平成29年4月＞	専	准教授	津田真寿美 ＜平成29年6月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究 臨床ゲノミクス概論			
専	講師	中山若樹 ＜平成29年4月＞	専	講師	中山若樹 ＜平成29年4月＞	専	講師	中山若樹 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	早川峰司 ＜平成29年4月＞	専	講師	早川峰司 ＜平成29年4月＞	専	講師	早川峰司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	舟山恵美 ＜平成29年4月＞	専	講師	舟山恵美 ＜平成29年4月＞	専	准教授	舟山恵美 ＜平成30年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	堀之内孝広 ＜平成29年4月＞	専	講師	堀之内孝広 ＜平成29年4月＞	専	講師	堀之内孝広 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	真崎雄一 ＜平成29年4月＞	専	講師	真崎雄一 ＜平成29年4月＞	専	講師	真崎雄一 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	森川守 ＜平成29年4月＞	専	准教授	森川守 ＜平成29年4月＞	専	准教授	森川守 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	保田晋助 ＜平成29年4月＞	専	准教授	保田晋助 ＜平成29年4月＞	専	准教授	保田晋助 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	講師	山田雅文 ＜平成29年4月＞	専	講師	山田雅文 ＜平成29年4月＞	専	講師	山田雅文 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	AMENGUALPLIEGOMARIA OLGA ＜平成29年4月＞	専	助教	AMENGUALPLIEGOMARIA OLGA ＜平成29年4月＞	専	助教	AMENGUALPLIEGOMARIA OLGA ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	浅井雄介 ＜平成29年4月＞	専	助教	浅井雄介 ＜平成29年4月＞	専	助教	浅井雄介 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基礎保健医療管理学			基礎保健医療管理学			基礎保健医療管理学
		基礎環境保健学			基礎環境保健学			基礎環境保健学
					基本医学研究			基本医学研究
					基本公衆衛生学研究			基本公衆衛生学研究
					応用保健医療管理学（人口学）			応用保健医療管理学（人口学）
					応用環境保健学（産業保健学）			応用環境保健学（産業保健学）
								応用生物統計学（Introduction to R）
		基本医学研究Ⅰ						
		基本医学研究Ⅱ						
		基本公衆衛生学研究Ⅰ						
		基本公衆衛生学研究Ⅱ						
		応用保健医療管理学（医療経済学）						
		応用環境保健学（産業保健・環境毒性学）						
		応用環境保健学（感染症疫学）			応用環境保健学（感染症疫学）			応用環境保健学（感染症疫学）
		応用環境保健学（国際感染症学・人獣共通感染症学）						
専	助教	浅野毅 ＜平成29年4月＞	専	助教	浅野毅 ＜平成29年4月＞	専	助教	浅野毅 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	新井明日菜 ＜平成29年4月＞	専	助教	新井明日菜 ＜平成29年4月＞	専	助教	新井明日菜 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	有木宏美 ＜平成29年4月＞	専	助教	有木宏美 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究			

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	稲場直子 ＜平成29年4月＞	専	助教	稲場直子 ＜平成29年4月＞	専	助教	稲場直子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	伊敏 ＜平成29年4月＞	専	助教	伊敏 ＜平成29年4月＞	専	助教	伊敏 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	岩野弘幸 ＜平成29年4月＞	専	助教	岩野弘幸 ＜平成29年4月＞	専	助教	岩野弘幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	岩見大基 ＜平成29年4月＞	専	助教	岩見大基 ＜平成29年4月＞	専	助教	岩見大基 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	鵜川重和 ＜平成29年4月＞	専	助教	鵜川重和 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究			
					基本公衆衛生学研究			
					基礎疫学			
					応用疫学（研究デザイン立案演習）			
					応用疫学（EBM演習）			
					応用疫学（疫学研究の実際）			
専	助教	内ヶ島基政 ＜平成29年4月＞	専	助教	内ヶ島基政 ＜平成29年4月＞	専	助教	内ヶ島基政 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		公開発表演習			公開発表演習			基本医学研究
専	助教	内田洋介 ＜平成29年4月＞	専	助教	内田洋介 ＜平成29年4月＞	専	助教	内田洋介 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	江川潔 ＜平成29年4月＞	専	助教	江川潔 ＜平成29年4月＞	専	助教	江川潔 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	榎木亮介 ＜平成29年4月＞	専	助教	榎木亮介 ＜平成29年4月＞			
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			
		基本医学総論			基本医学総論			
					基本医学研究			
専	助教	大塚紀幸 ＜平成29年4月＞	専	助教	大塚紀幸 ＜平成29年4月＞	専	助教	大塚紀幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	大林由英 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		応用保健医療管理学 (医療政策学)
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
		基本公衆衛生学研究Ⅰ
		基本公衆衛生学研究Ⅱ
専	助教	大平洋 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	大村優 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	小野澤真弘 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
		臨床医学概論
専	助教	折茂達也 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	加納崇裕 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	川久保和道 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	北市雄士 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	GOUDARZIHOUMAN ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	木村俊介 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究法Ⅰ
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	大林由英 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		応用保健医療管理学 (医療政策学)
		応用環境保健学（国際保健医学）
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	大平洋 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	大村優 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	小野澤真弘 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	折茂達也 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	加納崇裕 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	川久保和道 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	北市雄士 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	GOUDARZIHOUMAN ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	木村俊介 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究法Ⅰ
		基本医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	大林由英 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	大平洋 ＜平成29年4月＞
専	助教	大村優 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本医学研究法Ⅱ
専	助教	小野澤真弘 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	折茂達也 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	川久保和道 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	北市雄士 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	GOUDARZIHOUMAN ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
		臨床医学概論
専	助教	木村俊介 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究法Ⅰ
		基本医学研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専	助教	KURKINSERGEY <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	小林純子 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	今野幸太郎 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		公開発表演習 基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	金野陽輔 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	佐々木成子 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ
専	助教	清水健太 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	志馬寛明 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	杉本智恵 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ 基本公衆衛生学研究Ⅰ 基本公衆衛生学研究Ⅱ
専	助教	高橋育子 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ
専	助教	竹内啓 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専	助教	KURKINSERGEY <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	小林純子 <平成30年3月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究
専	助教	今野幸太郎 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		公開発表演習 基本医学研究
専	助教	金野陽輔 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	佐々木成子 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
		基礎疫学
		応用疫学（研究デザイン立案演習）
		応用疫学（EBM演習）
		応用疫学（疫学研究の実際）
専	助教	清水健太 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専	講師	小林純子 <平成30年3月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ 基本医学研究
専	助教	今野幸太郎 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	金野陽輔 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究 基本公衆衛生学研究
専	助教	佐々木成子 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
		基礎疫学
		応用疫学（研究デザイン立案演習）
		応用疫学（EBM演習）
		応用疫学（疫学研究の実際）
専	助教	清水健太 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	高橋育子 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	竹内啓 <平成29年4月>
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	東恒仁 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	平田健司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	藤岡容一朗 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	藤原圭司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	坊垣暁之 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	本間理央 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	的場光太郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	三井信幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	宮崎太輔 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		公開発表演習
		基本医学研究Ⅰ
専	助教	宮武由甲子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ
専	助教	村上壮一 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究Ⅰ
		基本医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	東恒仁 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	平田健司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	藤岡容一朗 ＜平成30年2月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	藤原圭司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	坊垣暁之 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	本間理央 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	的場光太郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		応用社会行動科学（法医学）
専	助教	三井信幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	宮崎太輔 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		公開発表演習
		基本医学研究
専	助教	宮武由甲子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	村上壮一 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	東恒仁 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	平田健司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	講師	藤岡容一朗 ＜平成30年2月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本医学研究法Ⅱ
専	助教	藤原圭司 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	坊垣暁之 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	本間理央 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究
専	助教	的場光太郎 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		応用社会行動科学（法医学）
専	助教	三井信幸 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	宮崎太輔 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	宮武由甲子 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
専	助教	村上壮一 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論
		基本医学研究
		基本公衆衛生学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	村上学 ＜平成29年4月＞	専	助教	村上学 ＜平成29年4月＞	専	助教	村上学 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
		基礎医学概論			基礎医学概論			基礎医学概論
		臨床医学概論			臨床医学概論			臨床医学概論
					基本医学研究			基本医学研究
								基本公衆衛生学研究
								基礎社会行動科学
								応用社会行動科学 (地域医療学)
専	助教	山野達貴信 ＜平成29年4月＞	専	助教	山野達貴信 ＜平成29年4月＞	専	助教	山野達貴信 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
					基本医学研究概論			基本医学研究概論
専	助教	横田卓 ＜平成29年4月＞	専	助教	横田卓 ＜平成29年4月＞	専	助教	横田卓 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	吉田隆行 ＜平成29年4月＞	専	助教	吉田隆行 ＜平成29年4月＞	専	助教	吉田隆行 ＜平成29年4月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
専	助教	渡部昌 ＜平成29年4月＞	専	助教	渡部昌 ＜平成29年4月＞	専	講師	渡部昌 ＜平成30年5月＞
		研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
		基本医学総論			基本医学総論			基本医学総論
					基本医学研究			基本医学研究
								基礎医学概論
			専	助教	杉野弘和 ＜平成29年4月＞	専	助教	杉野弘和 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
					基本医学総論			基本医学総論
			専	助教	竹谷隆司 ＜平成29年4月＞	専	助教	竹谷隆司 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
					基本医学総論			基本医学総論
			専	助教	中川雅夫 ＜平成29年4月＞	専	助教	中川雅夫 ＜平成29年4月＞
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
					基本医学総論			基本医学総論
			専	助教	鷺尾浩平 ＜平成29年4月＞			
					研究発表技法Ⅰ			
					研究発表技法Ⅱ			
					基本医学研究			
					基本医学総論			
			専	助教	都築慎也 ＜平成29年6月＞	専	助教	都築慎也 ＜平成29年6月＞
					基本医学総論			基本医学総論
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究
					基本公衆衛生学研究			基本公衆衛生学研究
			専	助教	水柿秀紀 ＜平成29年7月＞	専	助教	水柿秀紀 ＜平成29年7月＞
					基本医学総論			基本医学総論
					研究発表技法Ⅰ			研究発表技法Ⅰ
					研究発表技法Ⅱ			研究発表技法Ⅱ
					基本医学研究			基本医学研究

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			専	助教	渡部拓 ＜平成30年1月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究	専	助教	渡部拓 ＜平成30年1月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
			専	助教	趙文静 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 応用疫学（EBM演習） 応用疫学（疫学研究の実際） 応用疫学（研究デザイン立案演習） 基礎疫学 基本公衆衛生学研究	専	助教	趙文静 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 応用疫学（EBM演習） 応用疫学（疫学研究の実際） 応用疫学（研究デザイン立案演習） 基礎疫学 基本公衆衛生学研究
			専	助教	鄭森 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究	専	助教	鄭森 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
			専	助教	董培新 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究	専	助教	董培新 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
			専	助教	李效貞 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本公衆衛生学研究	専	助教	李效貞 ＜平成30年3月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本公衆衛生学研究
			専	助教	王磊 ＜平成30年3月＞ 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論 臨床情報工学 臨床シークエンス技法 臨床ゲノミクス概論	専	助教	王磊 ＜平成30年3月＞ 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究 基本医学総論 臨床情報工学 臨床シークエンス技法 臨床ゲノミクス概論
						専	助教	石田雄介 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 臨床情報工学 基本医学研究
						専	助教	岩田大樹 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
						専	助教	長内俊也 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
						専	助教	加藤徳雄 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
						専	助教	久保田卓 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
						専	助教	笹島仁 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究
						専	助教	鈴木智貴 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基本医学研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助手	中村秀樹 ＜平成29年4月＞ 基本医学研究概論
専	助手	古田 伊都子 ＜平成29年4月＞ 基本医学研究概論
兼任	教授	小笠原克彦 ＜平成29年4月＞ 医倫理学序論
		応用保健医療管理学 （医療マネジメント学）
兼任	教授	久下裕司 ＜平成29年4月＞ 基本医学研究概論
兼任	教授	近藤英治 ＜平成29年4月＞ 応用社会行動科学（健康スポーツ・体力科学）
兼任	教授	佐伯和子 ＜平成29年4月＞ 応用社会行動科学（地域保健学）
兼任	教授	西原広史 ＜平成29年4月＞ 臨床ゲノミクス概論 臨床情報工学 臨床シークエンス技法 臨床病理・検査医学
兼任	教授	宮永喜一 ＜平成29年4月＞ 臨床情報工学
兼任	教授	山内太郎 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（国際保健医学）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助手	中村秀樹 ＜平成29年4月＞ 基本医学研究概論
兼任	教授	小笠原克彦 ＜平成29年4月＞ 医倫理学序論 応用保健医療管理学 （医療マネジメント学）
兼任	教授	久下裕司 ＜平成29年4月＞ 基本医学研究概論
兼任	教授	佐伯和子 ＜平成29年4月＞ 応用社会行動科学（地域保健活動）
兼任	教授	宮永喜一 ＜平成29年4月＞ 臨床情報工学
兼任	教授	山内太郎 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（国際保健医学） 応用環境保健学（環境と子どもの健康・栄養）

[illegible]

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	石津明洋 ＜平成29年4月＞ 臨床病理・検査医学	兼任	教授	石津明洋 ＜平成29年4月＞ 臨床病理・検査医学
			兼任	教授	齋藤健 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境適応学特論）			
			兼任	教授	清水伸一 ＜平成29年4月＞ 臨床ゲノミクス概論	兼任	教授	清水伸一 ＜平成29年4月＞ 基本医学総論 臨床ゲノミクス概論
			兼任	教授	田中俊逸 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境適応学特論） 応用環境保健学（環境適応学特論） 応用環境保健学（環境計量学特論） 応用環境保健学（環境化学物質と人々の健康）			
			兼任	教授	長谷山美紀 ＜平成29年4月＞ 臨床情報工学			
			兼任	教授	畑中豊 ＜平成29年4月＞ 臨床病理・検査医学	兼任	教授	畑中豊 ＜平成29年4月＞ 基本医学総論 臨床病理・検査医学
			兼任	教授	細川敏幸 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境適応学特論）			
			兼任	教授	前仲勝実 ＜平成29年4月＞ 応用生物統計学（創薬発見科学）			
			兼任	教授	松本伊知朗 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境と子どもの健康・発達）			
			兼任	教授	水田正弘 ＜平成29年4月＞ 臨床情報工学			
			兼任	教授	本村泰三 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境適応学特論）			
兼任	准教授	荒木敦子 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境健康学）	兼任	准教授	荒木敦子 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境化学物質と人々の健康） 応用環境保健学（環境と子どもの健康・発達）			
兼任	准教授	遠藤晃 ＜平成29年4月＞ 臨床情報工学 臨床疫学 応用保健医療管理学（医療情報学）	兼任	准教授	遠藤晃 ＜平成29年4月＞ 臨床情報工学 臨床疫学 応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）	兼任	准教授	遠藤晃 ＜平成29年4月＞ 応用保健医療管理学（医療情報・安全管理学）
兼任	准教授	七戸秀夫 ＜平成29年4月＞ 応用社会行動科学（生命倫理学）	兼任	准教授	七戸秀夫 ＜平成29年4月＞ 応用社会行動科学（生命倫理学）	兼任	准教授	七戸秀夫 ＜平成29年4月＞ 医倫理学序論 応用社会行動科学（生命倫理学）
兼任	准教授	清水力 ＜平成29年4月＞ 臨床病理・検査医学	兼任	准教授	清水力 ＜平成29年4月＞ 臨床病理・検査医学			
兼任	准教授	長和俊 ＜平成29年4月＞ 臨床医学概論						

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	南須原康行 ＜平成29年4月＞	兼任	准教授	南須原康行 ＜平成29年4月＞			
		応用保健医療管理学 （医療安全管理学）			応用保健医療管理学 （医療情報・安全管理学）			
兼任	准教授	行木孝夫 ＜平成29年4月＞	兼任	准教授	行木孝夫 ＜平成29年4月＞			
		臨床情報工学			臨床情報工学			
兼任	准教授	平野美千代 ＜平成29年4月＞	兼任	准教授	平野美千代 ＜平成29年4月＞			
		応用社会行動科学（地域保健学）			応用社会行動科学 （地域保健活動）			
			兼任	准教授	伊藤公人 ＜平成29年4月＞			
					応用生物統計学（生物情報学と計算生物学）			
			兼任	准教授	沖野龍文 ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
					応用環境保健学（環境計量学特論）			
			兼任	准教授	藤崎正明 ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
					応用環境保健学（環境計量学特論）			
			兼任	准教授	田中敏 ＜平成29年4月＞	兼任	准教授	田中敏 ＜平成29年4月＞
					臨床病理・検査医学			臨床病理・検査医学
			兼任	准教授	豊田和弘 ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
					応用環境保健学（環境計量学特論）			
			兼任	准教授	廣川淳 ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境適応学特論）			
			兼任	准教授	宮下ちひろ ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境化学物質と人々の健康）			
						兼任	准教授	津田真寿美 ＜平成30年4月＞
								基本医学総論 臨床ゲノミクス概論
兼任	講師	船越忠直 ＜平成29年4月＞						
		臨床医学概論						
兼任	講師	山田崇弘 ＜平成29年4月＞	兼任	講師	山田崇弘 ＜平成29年4月＞			
		臨床ゲノミクス概論			臨床ゲノミクス概論			
兼任	講師	横式尚司 ＜平成29年4月＞						
		臨床医学概論						
			兼任	講師	伊藤佐智子 ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境化学物質と人々の健康）			
			兼任	講師	渡邊衛子 ＜平成29年4月＞			
					応用環境保健学（環境化学物質と人々の健康）			
			兼任	助教	天野虎次 ＜平成29年4月＞	兼任	助教	天野虎次 ＜平成29年4月＞
					臨床シーケンス技法			臨床情報工学 臨床シーケンス技法

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	助教	王磊 ＜平成29年4月＞ 臨床ゲノミクス概論			
			兼任	助教	岡田恵美子 ＜平成29年4月＞ 基礎疫学 応用疫学（研究デザイン立案演習） 応用疫学（EBM演習） 応用疫学（疫学研究の実際）			
			兼任	助教	林秀幸 ＜平成29年4月＞ 臨床シーケンス技法 臨床ゲノミクス概論	兼任	助教	林秀幸 ＜平成29年4月＞ 臨床病理・検査医学 臨床シーケンス技法 臨床ゲノミクス概論
			兼任	助教	水野芳子 ＜平成29年4月＞ 応用社会行動科学（地域保健活動）			
兼任	非常勤講師	岸玲子 ＜平成29年4月＞ 基本実験・研究計画法	兼任	非常勤講師	岸玲子 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境化学物質と人々の健康） 応用環境保健学（環境と子どもの健康・発達）			
			兼任	非常勤講師	池野多美子 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境と子どもの健康・発達）			
			兼任	非常勤講師	神和夫 ＜平成29年4月＞ 応用環境保健学（環境適応学特論） 応用環境保健学（環境計量学特論）			
						兼任	非常勤講師	伊藤陽一 ＜平成30年4月＞ 基本医学総論 基本実験・研究計画法 基礎生物統計学 臨床疫学 応用生物統計学（臨床研究統計解析） トランスレーショナルリサーチ概論

（注）・申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
・設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

〈修士課程〉

(1) ①②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

1. 科目の変更等

(1) 科目統廃合について

- ・(専) 有川二郎教授他161名(教授52名, 准教授28名, 講師19, 助教62)が受け持つ「基本医学研究Ⅰ」「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に統合
- ・(専) 大滝淳司教授他17名(教授5名, 准教授5名, 助教7名)が受け持つ「基本公衆衛生学研究Ⅰ」「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に統合
- ・(専) 岩崎倫政教授他2名(教授1名, 兼任・兼任教員1名)が受け持つ, 「応用社会行動科学(健康スポーツ・体力科学)」および「応用社会行動科学(健康栄養学)」を「応用社会行動科学(健康増進学)」へ統合。
- ・(兼任) 過藤晃准教授他1名(兼任・兼任教員1名)が受け持つ, 「応用保健医療管理学(医療安全管理学)」および「応用保健医療管理学(医療情報学)」を「応用保健医療管理学(医療情報・安全管理学)」へ統合。
- ・(専) 西浦博教授他1名(助教1名)が受け持つ, 「応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)」を「応用環境保健学(感染症疫学)」と統合。

(2) 講義題目名称の変更について

- (専) 玉腰暁子教授の「応用疫学(疫学研究方法論)」を「応用疫学(公衆衛生総論)」に変更
- (専) 玉腰暁子教授の「応用疫学(臨床研究方法論)」を「応用疫学(疫学研究の実際)」に変更
- (専) 中村幸志准教授の「応用生物統計学(観察研究の統計解析)」を「応用生物統計学(創薬発見科学)」に変更。
- (専) 伊藤陽一准教授の「応用生物統計学(データ解析演習)」を「応用生物統計学(生物情報学と計算生物学)」に変更。
- (専) 大滝純司教授他1名(准教授1名)の「応用社会行動科学(医療コミュニケーション学)」を「応用社会行動科学(法医学)」に変更。
- (兼任) 佐伯和子教授他1名(兼任准教授1名)の「応用社会行動科学(地域保健学)」を「応用社会行動科学(地域保健活動)」に変更。
- (専) 浅井雄介助教の「応用保健医療管理学(医療経済学)」を「応用保健医療管理学(人口学)」に変更。
- (専) 西浦博教授他1名(助教1名)の「応用環境保健学(産業保健・環境毒性学)」を「応用環境保健学(産業保健学)」に変更。
- (兼任) 荒木敦子教授の「応用環境保健学(環境健康学)」を「応用環境保健学(環境化学物質と人びとの健康)」に変更。

(3) 科目の担当について

- (専) 有川二郎教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 秋田弘俊教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 渥美達也教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「応用社会行動科学(健康栄養学)」を「応用社会行動科学(健康増進学)」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 荒戸照世教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本基本公衆衛生学研究」に変更。
- (専) 有賀正教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 石田晋教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。「医倫理学序論」を追加。
- (専) 岩崎倫政教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「応用社会行動科学(健康スポーツ・体力科学)」を「応用社会行動科学(健康増進学)」に変更。
- (専) 岩永敏彦教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基本医学研究概論」の担当を, 「渡辺雅彦教授」「土佐紀子助教」「山野貴真助教」「中村秀樹助手」「久下裕司兼任教授」へ変更。
- (専) 大滝純司教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「応用社会行動科学(医療コミュニケーション学)」を「応用社会行動科学(法医学)」に変更の上、担当を「的場光太郎助教」に変更。
- (専) 大場雄介教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床シークエンス技法」の担当を, 「王磊助教」「天野虎次兼任助教」「林秀幸兼任助教」へ変更。
- (専) 笠原正典教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 神谷温之教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 丸藤哲教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 久住一郎教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 坂本直哉教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 佐々木秀直教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床ゲノミクス概論」の担当を, 「秋田弘俊教授」「田中伸哉教授」「畠山鎮次教授」「七戸俊明准教授」「矢部一郎准教授」「津田真寿美准教授」「近藤健講師」「王磊助教」へ変更。
「医倫理学序論」の担当を「有川二郎教授」「有賀正教授」「石田晋教授」「武富紹信教授」「玉腰暁子教授」「豊嶋崇徳教授」「佐藤典宏教授」「伊藤陽一准教授」「小笠原克彦兼任教授」へ変更。
- (専) 佐邊壽孝教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 篠原信雄教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 清水宏教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 武富紹信教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 田中伸哉教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 田中真樹教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 玉腰暁子教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
「基本実験・研究計画法」を追加。
「応用疫学(疫学研究方法論)」を「応用疫学(公衆衛生総論)」に変更。
「応用疫学(臨床研究方法論)」を「応用疫学(疫学研究の実際)」に変更。
- (専) 豊嶋崇徳教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「医倫理学序論」を追加。
- (専) 西浦博教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「基礎保健医療管理学」を追加。
「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
「応用保健医療管理学(人口学)」を追加。
「応用環境保健学(産業保健・環境毒性学)」を「応用環境保健学(産業保健学)」に題目変更。
「応用環境保健学(国際感染症学・人獣共通感染症学)」を「応用環境保健学(感染症疫学)」に統合。
- (専) 西村正治教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 畠山鎮次教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 平野聡教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 松居吉郎教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 森本裕二教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 山本有平教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 吉岡充弘教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
「基本医学研究法Ⅱ」を追加。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 渡辺雅彦教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を, 「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
- (専) 資金清博教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 生駒一憲教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 松野吉宏教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
- (専) 山下啓子教授 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
教育体制の見直しにより「臨床ゲノミクス概論」の担当を, 「秋田弘俊教授」「田中伸哉教授」「畠山鎮次教授」「七戸俊明准教授」「矢部一郎准教授」「津田真寿美准教授」「近藤健講師」「王磊助教」へ変更。

(専)	佐藤典宏教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
(専)	橋野聡教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	廣瀬哲郎教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	清野研一郎教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	野口昌幸教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「基礎医学概論」の担当を、「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
(専)	村上正晃教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	近藤亨教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	外丸詩野准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「臨床病理・検査医学」の担当を、「田中伸哉教授」「谷野美智枝講師」「石津明洋兼担教授」 「畑中豊兼担教授」「清水力兼担教授」「田中敏兼担教授」へ変更。
(専)	朝倉聡准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「応用社会行動科学（精神保健学）」の担当を、「久住一郎教授」へ変更。
(専)	伊藤陽一准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。 「応用生物統計学（データ解析演習）」を「応用生物統計学（生物情報学と計算生物学）」に題目変更の上、 教育体制の見直しにより「応用生物統計学（生物情報学と計算生物学）」を（兼任）伊藤公人准教授が担当。 教育体制の見直しにより「応用疫学（研究デザイン立案実習）」の担当を、「玉腰暁子教授」「中村幸志准教授」 「鵜川重和助教」「佐々木成子助教」「趙文静助教」「岡田恵美子兼担助教」へ変更。
(専)	岩永ひろみ准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	大西俊介准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	鬼丸力也准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	神山俊哉准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	川畑秀伸准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「臨床病理・検査医学」の担当を、「田中伸哉教授」「谷野美智枝講師」 「石津明洋兼担教授」「畑中豊兼担教授」「清水力兼担教授」「田中敏兼担教授」へ変更。 「応用社会行動科学（医療コミュニケーション学）」を「応用社会行動科学（法医学）」に変更の上、 教育体制の見直しにより担当を「的場光太郎助教」に変更。
(専)	木下一郎准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	工藤正尊准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	久保大輔准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	倉島庸准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	小華和矩志准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
(専)	今野哲准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	志賀哲准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	七戸俊明准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「臨床ゲノミクス概論」を追加。
(専)	寺坂俊介准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	中川伸准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「応用社会行動科学（精神保健学）」の担当を、「久住一郎教授」へ変更。
(専)	中村幸志准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。 「応用疫学（疫学研究の実際）」を追加。 「応用生物統計学（観察研究の統計解析）」を「応用生物統計学（創薬発見科学）」に題目変更の上、 教育体制の見直しにより、担当を「前仲勝実兼担教授」に変更。
(専)	西江渉准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	野田航介准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	南保明日香准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	古川洋志准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	木間明宏准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	矢部一郎准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	北村秀光准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	山崎美和子准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	及川司講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	小野寺康仁講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	絹川真太郎講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	近藤健講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「臨床ゲノミクス概論」を追加。
(専)	新宮康栄講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	高橋秀尚講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	高畑雅彦准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	谷野美智枝講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	津田真寿美講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「臨床ゲノミクス概論」を追加。 教育体制の見直しにより「臨床シーケンス技法」の担当を、「王磊助教」「天野虎次兼担助教」「林秀幸兼担助教」へ変更。 教育体制の見直しにより「臨床病理・検査医学」の担当を、「田中伸哉教授」「谷野美智枝講師」「石津明洋兼担教授」 「畑中豊兼担教授」「清水力兼担教授」「田中敏兼担教授」へ変更。
(専)	中山若樹講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	早川峰司講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	舟山恵美講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	堀之内孝広講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「基本医学研究Ⅱ」の担当を、「大場雄介教授」「田中真樹教授」「吉岡充弘教授」 「PAUDEL SARAD助教」へ変更。
(専)	真崎雄一講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 教育体制の見直しにより「基本医学研究Ⅱ」の担当を、「大場雄介教授」「田中真樹教授」「吉岡充弘教授」 「PAUDEL SARAD助教」へ変更。
(専)	森川守准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	保田晋助准教授	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	山田雅文講師	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	浅井雄介助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。 「応用保健医療管理学（医療経済学）」を「応用保健医療管理学（人口学）」に変更。 「応用保健医療管理学（産業保健・環境毒性学）」を「応用保健医療管理学（産業保健学）」に題目変更。 「応用保健医療管理学（国際感染症学・人獣共通感染症学）」を「応用保健医療管理学（感染症学）」に統合。
(専)	浅野毅助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	新井明日菜助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
(専)	有本宏美助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	稲場直子助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	伊敏助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	岩野弘幸助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	岩見大基助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	鵜川重和助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。 「基礎疫学」「応用疫学（研究デザイン立案実習）」「応用疫学（EBM演習）」「応用疫学（疫学研究の実際）」を追加。
(専)	内ヶ島基政助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
(専)	内田洋介助教	「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。

(専) 江川深助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 榎木亮介助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 大塚紀幸助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 大林由英助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
 「応用保健医療管理学(国際保健医学)」を追加。
 (専) 大平洋助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 大村優助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 小野澤真弘助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 教育体制の見直しにより「臨床医学概論」の担当を、「大滝淳司教授」「村上学助教」へ変更。
 (専) 折茂達也助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 加納崇裕助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 川久保和道助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 北市雄士助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) GOUDARZI HOUMAN助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 木村俊介助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) KURKIN SERGEY助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 小林純子助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 今野幸太郎助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 金野隔輔助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 佐々木成子助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更。
 「基礎疫学」「応用疫学(研究デザイン立案演習)」「応用疫学(EBM演習)」「応用疫学(疫学研究の実際)」を追加
 (専) 清水健太助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 高橋育子助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 竹内啓助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 武田真人助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 築山忠雄助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 津田祥美講師 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 土佐紀子助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 中澤祐一助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 中村透助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 西出真也助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) PAUDEL SARAD助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 橋本あり助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 秦洋郎助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 東恒仁助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 平田健司助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 藤岡容一朗助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 藤原圭司助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 坊垣暁之助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 本間理央助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 的場光太郎助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 「応用社会行動科学(法医学)」を追加。
 「基本公衆衛生学研究Ⅰ」および「基本公衆衛生学研究Ⅱ」を「基本公衆衛生学研究」に変更の上、
 教育体制の見直しにより担当を「大滝純司教授他17名(教授6名、准教授4名、助教8名)」へ変更。
 (専) 三井信幸助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 宮崎太輔助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 宮武由甲子助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 村上壮一助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 村上学助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 山野邊貴信助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 「基本医学研究概論」を追加。
 (専) 横田卓助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 吉田隆行助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (専) 渡部昌助教 「基本医学研究Ⅰ」および「基本医学研究Ⅱ」を「基本医学研究」に変更。
 (兼任) 山内太郎教授 「応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)」を追加。
 (兼任) 荒木敦子准教授 「応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)」を追加。
 (兼任) 岸玲子非常勤講師 「応用環境保健学(環境科学物質と人々の健康)」「応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)」を追加。

2. 教員の就任辞退、追加、昇任等

(1) 就任辞退・辞任について

①就任辞退(未就任)

(専) 玉木長良教授 平成29年3月退職のため就任辞退(後任:採用時期未定)
 (専) 筒井裕之教授 平成28年7月退職のため就任辞退。(後任:安斉俊久教授)
 (専) 福田諭教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:本間明宏教授)
 (専) 榎木範明教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:渡利英道教授)
 (専) 安田和則教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:採用時期未定)
 (専) 水上尚典教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:採用時期未定)
 (専) 瀬谷司教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:小林弘一教授)
 (専) 三輪聡一教授 平成28年9月退職のため就任辞退。(後任:採用時期未定)
 (専) 若尾宏准教授・平成28年12月退職のため就任辞退。(後任:採用時期未定)
 (専) 泉剛准教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:西谷直也助教)
 (専) 志馬寛明准教授 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:採用時期未定)
 (専) 杉本智恵退職 平成29年3月退職のため就任辞退。(後任:都築慎也助教)
 (専) 古田伊都子助手 教育体制の見直しにより就任辞退。後任採用予定無し。
 ※就任辞退者等が担当を予定していた科目はいずれも同じ研究分野の専任教員が担当しているため支障は無い。

②辞任

(専) 北村信人准教授 平成29年4月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 中川伸准教授 平成29年9月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 高橋秀尚講師 平成29年9月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 有木宏美助教 平成29年5月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 榎木亮介助教 平成29年12月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 加納崇裕助教 平成29年6月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 西出真也助教 平成29年7月退職のため辞任。(後任:採用時期未定)
 (専) 大平洋助教 平成30年1月に他部局異動のため辞任。(後任:渡部拓助教)
 ※就任辞退者等が担当を予定していた科目はいずれも同じ研究分野の専任教員が担当しているため支障は無い。

(2) 教員の追加について

①教育体制の見直しにより、専任教員として以下の教員を追加

・平成29年1月
 (専) 守屋仁彦准教授 「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学総論」を担当
 (専) 杉野弘和助教 「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学総論」を担当
 (専) 竹谷隆司助教 「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学総論」を担当
 (専) 中川雅夫助教 「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学総論」を担当
 (専) 鷲尾浩平助教 「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学総論」を担当
 ・平成29年6月
 (専) 都築慎也助教(杉本智恵助教の後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本公衆衛生学研究」を担当
 ・平成29年7月
 (専) 水柿秀紀助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
 ・平成29年9月
 (専) 安斉俊之教授(筒井裕之教授の後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当

- ・平成29年11月
(専) 小林弘一教授(瀬谷司教授の後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
- ・平成30年1月
(専) 渡部拓助教(大平洋助教の後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 中丸裕爾准教授 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
- ・平成30年3月
(専) 渡利英道教授(櫻木範明教授後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 王森助教(兼担助教から採用) 「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学総論」「臨床情報工学」
「臨床シークエンス技法」「臨床ゲノミクス概論」を担当
(専) 趙文静助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「応用疫学(EBM演習)」
「応用疫学(疫学研究の実際)」「応用疫学(研究デザイン立案演習)」「基礎疫学」「基本公衆衛生学研究」を担当
(専) 董培新助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 鄭森助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 李效貞助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本公衆衛生学研究」を担当

②教育体制の見直しにより、平成29年1月に兼担・兼任教員として以下の教員を追加

- (兼担) 石津明洋教授 「臨床病理・検査医学」を担当
- (兼担) 齊藤健教授 「応用環境保健学(環境適応学特論)」を担当
- (兼担) 清水伸一教授 「臨床ゲノミクス概論」を担当
- (兼担) 田中俊逸教授 「応用環境保健学(環境適応学総論)」「応用環境保健学(環境適応学特論)」「応用環境保健学(環境計量学特論)」
「応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)」を担当
- (兼担) 長谷山美紀教授 「臨床情報工学」を担当
- (兼担) 畑中豊教授 「臨床病理・検査医学」を担当
- (兼担) 細川敬幸教授 「応用環境保健学(環境適応学特論)」を担当
- (兼担) 前仲勝実教授 「応用生物統計学(創薬発見科学)」を担当
- (兼担) 松本伊知朗教授 「応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)」を担当
- (兼担) 水田正弘教授 「臨床情報工学」を担当
- (兼担) 本村泰三教授 「応用環境保健学(環境適応学特論)」を担当
- (兼担) 伊藤公人准教授 「応用生物統計学(生物情報学と計算生物学)」を担当
- (兼担) 沖野龍文准教授 「応用環境保健学(環境適応学総論)」「応用環境保健学(環境適応学特論)」「応用環境保健学(環境計量学特論)」を担当
- (兼担) 藏崎正明准教授 「応用環境保健学(環境適応学総論)」「応用環境保健学(環境適応学特論)」「応用環境保健学(環境計量学特論)」を担当
- (兼担) 田中敏准教授 「臨床病理・検査医学」を担当
- (兼担) 豊田和弘准教授 「応用環境保健学(環境適応学総論)」「応用環境保健学(環境適応学特論)」「応用環境保健学(環境計量学特論)」を担当
- (兼担) 廣川淳准教授 「応用環境保健学(環境適応学特論)」「応用環境保健学(環境計量学特論)」を担当
- (兼担) 宮下ちひろ准教授 「応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)」を担当
- (兼担) 伊藤佐智子講師 「応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)」を担当
- (兼担) 湊屋街子講師 「応用環境保健学(環境化学物質と人々の健康)」を担当
- (兼担) 天野虎次助教 「臨床シークエンス技法」を担当
- (兼担) 王森助教 「臨床ゲノミクス概論」を担当
- (兼担) 岡田恵美子助教 「基礎疫学」「応用疫学(研究デザイン立案演習)」「応用疫学(EBM演習)」「応用疫学(疫学研究の実際)」を担当
- (兼担) 林秀幸助教 「臨床シークエンス技法」「臨床ゲノミクス概論」を担当
- (兼担) 水野芳子助教 「応用社会行動科学(地域保健学)」を担当
- (兼任) 池野多美子非常勤講師 「応用環境保健学(環境と子どもの健康・発達)」を担当
- (兼任) 神和夫非常勤講師 「応用環境保健学(環境適応学特論)」「応用環境保健学(環境計量学特論)」を担当

(3) 教員配置の見直しについて

教育体制の見直しにより以下の教員について担当外とする。

- (兼担) 近藤英治教授 担当を予定していた授業科目については「渥美達也教授」「岩崎倫征教授」が担当。
- (兼担) 西原広史准教授 担当を予定していた授業科目については「秋田弘俊教授」「田中仲裁教授」「畠山鎮次教授」「伊藤陽一准教授」
「七戸俊明准教授」「矢部一郎准教授」「津田真寿美准教授」「近藤健講師」「谷野美智枝講師」「石田雄介助教」
「王森助教」「石津明洋兼担教授」「畑中豊兼担教授」「宮永喜一兼担教授」「長谷山美紀兼担教授」「水田正弘兼担教授」
「遠藤晃兼担教授」「田中敏兼担教授」「行木孝夫兼担教授」「天野虎次兼担助教」「清水力兼担教授」
「林秀幸兼担助教」が担当。
- (兼担) 長和俊准教授 担当を予定していた授業科目については「大滝淳司教授」「村上学助教」が担当。
- (兼担) 船越忠直講師 担当を予定していた授業科目については「大滝淳司教授」「村上学助教」が担当。
- (兼担) 横式尚司講師 担当を予定していた授業科目については「大滝淳司教授」「村上学助教」が担当。

(4) 教員の昇任について

- (専) 本間明宏准教授を教授に昇任。(福田論教授後任)
- (専) 山崎美和子講師を准教授に昇任。
- (専) 高畑雅彦講師を准教授に昇任。
- (専) 津田真寿美講師を准教授に昇任。
- (専) 森川守講師を准教授に昇任。
- (専) 保田晋助講師を准教授に昇任。
- (専) 小林純子助教を講師に昇任。
- (専) 津田祥美助教を講師に昇任。
- (専) 藤岡容一朗助教を講師に昇任。
- (専) 南須原康行兼担教授を専任教授に昇任。担当科目「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本公衆衛生学研究」「基本医学総論」を追加。

【平成30年度】

1. 科目の変更等

(1) 講義題目名称の変更について

- ・(兼担)田中俊逸教授他5名(兼担准教授4名、兼任教員1名)が受け持つ、「応用環境保健学(環境適応学総論)」を「応用環境保健学(Infectious Disease Modeling I)」に題目変更。
- ・(兼担)齋藤健教授他6名(兼担教授3名、兼担准教授3名)が受け持つ応用環境保健学(環境適応学特論)」を「応用環境保健学(Infectious Disease Modeling II)」に題目変更。
- ・(兼担)田中俊逸教授他5名(兼担准教授4名、兼任教員1名)が受け持つ、「応用環境保健学(環境計量学特論)」を「応用環境保健学(Emerging Infectious Diseases)」に題目変更。

(2) 科目の担当について

- (専) 秋田弘俊教授 教育体制の見直しにより、「臨床ゲノミクス概論」の担当を、「田中仲裁教授」「畠山鎮次教授」「木下一郎准教授」「七戸俊明准教授」「矢部一郎准教授」「王磊助教」「清水伸一兼担教授」「津田真寿美兼担教授」「林秀幸兼担助教」へ変更。
- (専) 荒戸照世教授 「トランスレーショナルリサーチ概論」を追加。
- (専) 石田晋教授 教育体制の見直しにより、「医倫理学序論」の担当を、「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「矢部一郎准教授」「小笠原克彦兼担教授」「七戸秀夫兼担教授」へ変更。
- (専) 大滝純司教授 「応用社会行動科学(健康行動科学)」を、大学院共通授業科目「バイオインフォマティクスと計算生物学」に統合。
- (専) 神谷温之教授 「基本医学概論」を追加。
- (専) 佐々木秀直教授 「医倫理学序論」を追加。
- (専) 武富紹信教授 教育体制の見直しにより「医倫理学序論」の担当を、「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「矢部一郎准教授」「小笠原克彦兼担教授」「七戸秀夫兼担教授」へ変更。
- (専) 田中仲裁教授 「臨床シークエンス技法」「臨床情報工学」「基礎医学概論」を追加。
- (専) 豊嶋崇徳教授 教育体制の見直しにより「医倫理学序論」の担当を、「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「矢部一郎准教授」「小笠原克彦兼担教授」「七戸秀夫兼担教授」へ変更。
- (専) 西浦博教授 「応用保健医療管理学(Cost Effective Analysis)」「応用保健医療管理学(Introduction to Mathematical Modeling)」「応用環境保健学(Emerging Infections Diseases)」「応用環境保健学(Infections Disease Modeling I)」「応用環境保健学(Infections Disease Modeling II)」「応用生物統計学(Causal Influence in Statistics)」「応用生物統計学(Introduction to R)」「臨床情報工学」を追加。
- (専) 吉岡充弘教授 「基礎医学概論」を追加。
- (専) 渡辺雅彦教授 教育体制の見直しにより「基本医学研究概論」の担当を、「有川二郎教授」「土佐紀子助教」「山野邊貴信助教」「中村秀樹助手」「久下裕司兼担教授」へ変更。
- (専) 佐藤典宏教授 教育体制の見直しにより「医倫理学序論」の担当を、「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「矢部一郎准教授」「小笠原克彦兼担教授」「七戸秀夫兼担教授」へ変更。「臨床疫学」の担当を、「伊藤陽一兼任教員」へ変更。
- (専) 野口昌幸教授 「基礎医学概論」を追加。
- (専) 朝倉聡准教授 「応用社会行動科学(精神保健学)」を追加。
- (専) 大西俊介准教授 「臨床医学概論」を追加。
- (専) 木下一郎准教授 「臨床ゲノミクス概論」を追加。
- (専) 小華和柊志准教授 「応用社会行動科学(地域医療学)」を追加。
- (専) 南保明日香准教授 「基本医学研究法Ⅱ」を追加。
- (専) 矢部一郎准教授 「医倫理学序論」を追加。
- (専) 山崎美和子准教授 「基礎医学概論」を追加。
- 教育体制の見直しにより「公開発表演習」の担当を、「渡辺雅彦教授」へ変更。
- (専) 浅井雄介助教 「応用生物統計学(Introduction to R)」を追加。
- (専) 稲垣直子助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 内ヶ島基政助教 教育体制の見直しにより「公開発表演習」の担当を、「渡辺雅彦教授」へ変更。
- (専) 大林由英助教 「応用保健医療管理学(医療政策学)」を「応用保健医療管理学(Cost Effectiveness Analysis)」へ題目変更の上、教育体制の見直しにより担当を、「西浦博教授」「都築慎也助教」へ変更。
- 大学院共通授業科目との整理により「応用保健医療管理学(国際保健医学)」を削除。
- (専) 大村優助教 「基本医学研究法Ⅱ」を追加。
- (専) 折茂達也助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 川久保和道助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 北市雄士助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) GOUDARZI HOUMAN助教 「基本公衆衛生学研究」「臨床医学概論」を追加。
- (専) 今野幸太郎助教 教育体制の見直しにより「公開発表演習」の担当を、「渡辺雅彦教授」へ変更。
- (専) 金野陽輔助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 土佐紀子助教 教育体制の見直しにより「基本医学総論」の担当を「有川二郎教授他162名」へ変更。
- (専) 藤岡容一朗助教 「基本医学研究法Ⅱ」を追加。
- (専) 坊垣暁之助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 本間理央助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 宮崎太輔助教 教育体制の見直しにより「公開発表演習」の担当を、「渡辺雅彦教授」へ変更。
- (専) 村上壮一助教 「基本公衆衛生学研究」を追加。
- (専) 村上学助教 「基本公衆衛生学研究」「基礎社会行動科学」「応用社会行動科学(地域医療学)」を追加。
- (専) 吉田隆行助教 教育体制の見直しにより「基本医学総論」の担当を「有川二郎教授他162名」へ変更。
- (専) 渡部昌講師 「基礎医学概論」を追加。
- (専) 竹谷隆司助教 「基本医学研究法Ⅱ」を追加。
- (専) 都築慎也助教 「応用保健医療管理学(Cost Effectiveness Analysis)」を追加。

(兼担) 小笠原克彦教授 大学院共通授業科目との整理により「応用保健医療管理学(医療マネジメント学)」を削除。

(兼担) 遠藤寛准教授 教育体制の見直しにより「臨床情報工学」の担当を「田中仲裁教授」「西浦博教授」「石田雄介助教」「王磊助教」「天野虎次兼担助教」「七戸秀夫兼担教授」へ変更。「臨床疫学」の担当を、「伊藤陽一兼任教員」へ変更。

(兼担) 七戸秀夫准教授 「医倫理学序論」を追加。

(専) 南須原康行教授 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅱ」「基本公衆衛生学研究」を追加。

(兼担) 清水伸一教授 「基本医学総論」を追加。

(兼担) 畑中豊教授 「基本医学総論」を追加。

(兼担) 天野虎次助教 「臨床情報工学」を追加。

(兼担) 林秀幸助教 「臨床病理・検査医学」を追加。

2. 教員の就任辞任、追加、昇任等

(1) 辞任について

- (専) 有賀正教授 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 丸藤哲教授 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 西村正治教授 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) KURKIN SERGEY助教 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 古川洋志准教授 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 川畑秀伸准教授 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 鷲川重和助教 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 寺坂俊介准教授 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 鷲尾浩平助教 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 近藤健講師 平成30年3月退職のため辞任。(後任：橋本大吾准教授)

(兼担) 清水力准教授 平成30年3月退職のため辞任。後任：採用時期未定。

(専) 伊藤陽一准教授 平成30年3月退職のため辞任。兼任教員に変更。(後任：採用予定・時期未定)

(専) 谷野美智枝講師 平成30年4月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)

(専) 津田真寿美准教授 平成30年4月に他大学院異動のため辞任。兼担教員に変更。

※担当していた科目はいずれも同じ研究分野の専任教員等が担当しているため支障は無い。

(2) 教員の追加について

①教育体制の見直しにより、平成30年4月に専任教員として以下の教員を追加。

(専) 橋本大吾准教授 (近藤健講師後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 橋本直樹助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「応用社会行動科学(精神保健学)」「基本医学研究」を担当
(専) 長内俊也助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 鈴木智貴助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 笹島仁助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 前田拓助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 森川賢一助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 加藤徳雄助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 本間重紀助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 西谷直也助教 (泉剛講師後任) 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」「基本医学研究法Ⅱ」を担当
(専) 石田雄介助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「臨床情報工学」「基本医学研究」を担当
(専) 松本隆児助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 岩田大樹助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当
(専) 久保田卓助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当

②教育体制の見直しにより、平成30年5月に専任教員として以下の教員を追加。

(専) 谷川聖助教 「基本医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基本医学研究」を担当

③教育体制の見直しにより、平成30年4月に兼任・兼担教員として以下の教員を追加。

(兼任) 伊藤陽一非常勤講師 「基本医学総論」「基本実験・研究計画法」「基礎生物統計学」「臨床疫学」「応用生物統計学(臨床生物統計学)」
「トランスレーショナルリサーチ概論」を担当。
(兼任) 津田真寿美准教授 「基本医学総論」「臨床ゲノミクス概論」を担当

(3) 兼任・兼任教員配置の見直しについて

教育体制の見直しにより以下の教員について担当外とする。

(兼任) 佐伯和子教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 宮永喜一教授 担当科目については、「田中伸哉教授」「西浦博教授」「石田雄介助教」「王磊助教」「天野虎次兼担助教」
「七戸秀夫兼担准教授」が担当。
(兼任) 山内太郎教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 荒木敦子准教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 清水力准教授 担当科目については「田中伸哉教授」「石津明洋兼担教授」「畑中豊兼担教授」「田中敏兼担教授」「林秀幸兼担助教」が担当。
(兼任) 行本孝夫准教授 担当科目については、「田中伸哉教授」「西浦博教授」「石田雄介助教」「王磊助教」「天野虎次兼担助教」
「七戸秀夫兼担准教授」が担当。

(兼任) 平野美千代准教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 山田崇弘講師 担当科目については「田中伸哉教授」「畠山鎮次教授」「木下一郎准教授」「七戸俊明准教授」「矢部一郎准教授」
「王磊助教」「清水伸一兼担教授」「津田真寿美兼担准教授」「林秀幸兼担助教」が担当。
(兼任) 齋藤健教授 担当科目については「西浦博教授」が担当。
(兼任) 田中俊逸教授 担当科目については「西浦博教授」が担当、または大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 長谷山美紀教授 担当科目については「田中伸哉教授」「西浦博教授」「石田雄介助教」「王磊助教」「天野虎次兼担助教」
「七戸秀夫兼担准教授」が担当。
(兼任) 細川敏幸教授 担当科目については「西浦博教授」が担当
(兼任) 前仲陽実教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 松本伊知朗教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 水田正弘教授 担当科目については「田中伸哉教授」「西浦博教授」「石田雄介助教」「王磊助教」「天野虎次兼担助教」
「七戸秀夫兼担准教授」が担当。
(兼任) 本村泰三教授 担当科目については「西浦博教授」が担当。
(兼任) 伊藤公人准教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 沖野龍文准教授 担当科目については「西浦博教授」が担当。
(兼任) 藤崎正明准教授 担当科目については「西浦博教授」が担当。
(兼任) 豊田和弘准教授 担当科目については「西浦博教授」が担当。
(兼任) 廣川淳准教授 担当科目については「西浦博教授」が担当。
(兼任) 宮下ひろ准教授 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 伊藤佐智子講師 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 湊屋街子講師 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 岡田恵美子助教 担当科目については「玉腰暁子教授」「中村幸志准教授」「佐々木成子助教」「趙文静助教」が担当。
(兼任) 水野芳子助教 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 岸玲子非常勤講師 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 池野多美子非常勤講師 担当科目については、大学院共通科目で開講する科目で対応。
(兼任) 神和夫非常勤講師 担当科目については「西浦博教授」が担当。

(4) 教員の昇任について

(専) 舟山恵美講師を准教授に昇任。
(専) 渡部昌助教を講師に昇任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により
算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設 置 時 の 計 画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
52 (44)	28 (32)	19 (15)	62 (63)	161 (154)	46	28	13	74	161	46 [△6]	28 [0]	13 [△6]	74 [12]	161 [0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
57 (52)	104 (102)	0 (0)			53	108	0			53 [△4]	108 [4]	0 [0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、
完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{161}{161} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{161} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈修士課程〉

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	玉木長良	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修／選択	臨床医学概論	①	
※履修コースにより、必修／選択の区別が異なる。						
2	教授	筒井裕之	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年７月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
3	教授	福田諭	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
4	教授	安田和則	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月定年退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
5	教授	櫻木範明	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
6	教授	水上尚典	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
7	教授	瀬谷 司	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
8	教授	三輪聡一	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年９月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修／選択	基礎医学概論	①	
※履修コースにより、必修／選択の区別が異なる。						
9	准教授	若尾 宏	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年12月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅰ	①	
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅱ	①	
10	講師	泉 剛	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	

11	助教	志馬寛明	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）				
			必修	研究発表技法Ⅱ	①					
			必修	基本医学研究Ⅰ	①					
			必修	基本医学研究Ⅱ	①					
			選択	基本医学総論	①					
12	助教	杉本智恵	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年３月退職のため、就任辞退（29）				
			必修	研究発表技法Ⅱ	①					
			必修	基本医学研究Ⅰ	①					
			必修	基本医学研究Ⅱ	①					
			選択	基本医学総論	①					
			必修	基本公衆衛生学研究Ⅰ	①					
13	助手	古田伊都子	必修	基本公衆衛生学研究Ⅱ	①	平成29年３月教育体制の見直しのため、担当外とした（30）				
			必修	基本医学研究概論	①					
合計（Ｄ）					後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
13	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	北村信人	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年4月退職のため辞任(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			選択	基本医学総論	①	
2	准教授	中川 伸	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年9月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
3	准教授	古川 洋志	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
4	准教授	伊藤 陽一	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			必修	基本公衆衛生学研究	①	
			必修	基本実験・研究計画法	①	
			必修	医倫理学序論	①	
			必修	基礎生物統計学	②	
			選択	基本医学総論	①	
			選択	臨床情報工学	①	
			選択	臨床疫学	②	
			選択	応用生物統計学(臨床研究統計解析)	②	

5	准教授	川畑 秀伸	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			必修	基本公衆衛生学研究	①	
			必修	基礎社会行動科学	①	
			選択	基本医学総論	①	
			選択	応用社会行動科学(健康行動科学)	③	
			選択	応用社会行動科学(地域医療学)	①	
6	准教授	寺坂 俊介	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
7	准教授	津田 真寿美	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年4月他大学院異動のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
			選択	臨床ゲノミクス概論	①	
8	講師	高橋 秀尚	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年9月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
9	講師	近藤 健	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
			選択	臨床ゲノミクス概論	①	
10	講師	谷野美智枝	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年4月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
			選択	臨床病理・検査医学	①	
11	助教	有木 宏美	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年5月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
12	助教	加納 崇裕	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年6月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
13	助教	西出 真也	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年7月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
14	助教	榎木 亮介	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年12月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
15	助教	大平 洋	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年1月他部局異動のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	

16	助教	鶴川 重和	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基本医学研究	①								
			必修	基本公衆衛生学研究	①								
			必修	基礎疫学	①								
			選択	基本医学総論	①								
			選択	応用疫学(研究デザイン立案演習)	①								
			選択	応用疫学(EBM演習)	①								
			選択	応用疫学(疫学研究の実際)	①								
17	助教	鷲尾 浩平	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基本医学研究	①								
			選択	基本医学総論	①								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
17	人	必修	11	科目	必修	10	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	9	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	19	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
30	人	必修	20	科目	必修	19	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	10	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	32	科目	計	29	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{30}{161} = 18.63 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	西村 正治	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け定年退職(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	
2	教授	丸藤 哲	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け定年退職(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究	①	
			選択	基本医学総論	①	

3	教授	有賀 正	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け定年退職(30)			
			必修	研究発表技法Ⅱ	①				
			必修	基本医学研究	①				
			必修	医倫理学序論	①				
			選択	基本医学総論	①				
4	助教	KURKIN SERGEY	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け定年退職(30)			
			必修	研究発表技法Ⅱ	①				
			必修	基本医学研究	①				
			選択	基本医学総論	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該退職教員等が担当していた授業科目については、同じ研究分野を専門とする専任教員が十分にいることから、教育上の支障はない。また、年度ごとに更新するシラバスや時間割に担当教員を掲載することで、学生へ周知をしている。(29)

医学院の授業科目を担当する教員については、附属病院の診療業務との兼ね合いにより毎年度担当の変更が生じるものもあるが、同じ研究分野の教員で担当するなど、授業実施にあたり、支障が生じないように計画している。
平成30年度においても、教授3名、准教授6名、講師3名、助教8名が退職等により辞任しているが、授業科目の実施に必要な、同じ研究分野を専門とする専任教員を十分に確保していること。また、他大学への異動退職などで専任教員の補充が間に合っていない科目については、一時的に異動先からの兼任教員として学生の履修に不利益が生じないように対応している。併せて、今後の継続的な教育体制の構築に向け、助教23名を採用するなど、教育上において支障が出ないように計画している。
学生への周知については、年度毎に更新するシラバスや時間割に担当教員を掲載することで対応している(30)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (2 9 年 4 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (3 0 年 2 月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院医学院 医科学専攻（修士課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

① 実施体制

a 委員会の設置状況

高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成27年度2回開催，平成28年度1回開催，平成29年度1回開催

c 委員会の審議事項等

- ・教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関する事
- ・職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関する事
- ・総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関する事
- ・その他教職員等の研修に関する事

② 実施状況

a 実施内容

本学教職員を対象としたFD・SDの実施

b 実施方法

ワークショップ形式，講義形式，講演会等の本学教職員を対象としたFD・SDの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・知って活用したい北大の教員支援制度（4/21，北大22名）
- ・メンタルヘルスケア講演会～対学生メンタルヘルスケア編（5/15，北大28名，北大以外14名）
- ・効果的なグループワークのためのファシリテーション入門ワークショップ（5/19，北大11名，北大以外10名）
- ・講演会「『アクティブ・ラーニング時代』の大人数講義法の基本」（5/30，北大46名，北大以外34名）
- ・講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（6/14，北大15名，北大以外17名）
- ・問いと学習環境を意識した授業づくりの方向性ワークショップ（北大7名，北大以外6名）
- ・第32回北海道大学教育ワークショップ（6/23-24，北大15名，北大以外2名）
- ・メンタルヘルスケア講演会～対教職員メンタルヘルスケア編（6/26，北大39名，北大以外21名）
- ・ループリック評価入門ワークショップ（7/5，北大8名，北大以外13名）
- ・講演会「多様な学習動機への対応」（7/21，北大22名，北大以外16名）
- ・講演会「発達障害のある学生の理解と対応」（共催）（8/8，北大43名，北大以外21名）
- ・講演会「円滑な講義・演習のための高等教育における学びのユニバーサルデザイン」（共催）（8/9，北大18名，北大以外9名）
- ・講演会「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」（8/10，北大21名，北大以外10名）
- ・授業運営の苦悩～解決策を探る（8/18，北大5名，北大以外6名）
- ・Teaching in Englishワークショップ（8/21，北大13名，北大以外4名）
- ・北海道FD・SDフォーラム2017（9/1，北大35名，北大以外63名）
- ・シンポジウム「アクティブラーニングは日本の教育を変えるのか」（9/2，北大17名，北大以外66名）
- ・Workshop on creating rubrics（9/8，北大7名）
- ・第33回北海道大学教育ワークショップ（9/14-15，北大16，北大以外5名）
- ・アクティブラーニング導入ワークショップ（9/20，北大7名，北大以外7名）

- ・ループリック評価入門ワークショップ（9/22，北大12名，北大以外14名）
- ・講演会「伝わる話し方を心がけて」（10/23，北大57名，北大以外10名）
- ・E L M S 講習会～授業でE L M S を活用する～（11/10・13，北大32名）
- ・第34回北海道大学教育ワークショップ（11/17-18，北大14名，北大以外1名）
- ・講演会「学習意欲を高め維持するプレゼンテーションの技法」（11/24，北大45名，北大以外22名）
- ・Classroom management techniques for classes conducted in English（12/8，北大12名，北大以外1名）
- ・シラバスのブラッシュアップ研修（12/9，北大4名，北大以外3名）
- ・求められる学習支援を考える（12/15，北大8名，北大以外8名）
- ・英文Eメールライティング研修（フォーマット編）（1/26，北大14名，北大以外5名）
- ・英文Eメールライティング研修（表現編）（1/27，北大16名，北大以外4名）
- ・英語コミュニケーション研修（リスニング編）（2/16，北大25名，北大以外3名）
- ・英語コミュニケーション研修（スピーキング編）（2/17，北大22名，北大以外3名）
- ・アクティブラーニング導入ワークショップ（2/21，北大7名，北大以外2名）
- ・ループリック評価入門ワークショップ（2/22，北大11名，北大以外6名）
- ・英語プレゼンテーション研修（3/6・7，北大4名）
- ・アカデミック・ライティング研修（3/14，北大10名，北大以外2名）
- ・改めて教育の質保証を検討する（3/15，北大3名，北大以外14名）
- ・FD・SD研修企画マネジメント（3/15，北大8名，北大以外9名）
- ・北海道地区国立大学法人等初任職員研修（4/12-14，北大52名，北大以外26名）
- ・初任事務職員英語研修（6/6-7/27，北大49名）
- ・初任事務職員実地研修（8/22-9/1，北大49名）
- ・初任事務職員フォローアップ研修（11/10，北大47名）
- ・北海道地区国立大学法人等中堅職員研修（6/12-14，北大22名，北大20以外名）
- ・北海道地区国立大学法人等係長研修（12/13-15，北大17名，北大以外16名）
- ・北海道地区国立大学法人等会計基準研修（10/11-13，北大24名，北大以外15名）
- ・会計実務研修（7/24-26，北大15名）
- ・事務職員英会話研修（5/19-12/15，北大16名）
- ・事務職員海外語学研修（ニュージーランド）（10/6-11/19，北大1名）
- ・事務職員海外語学研修（カナダ）（10/22-12/21，北大1名）
- ・事務職員海外インターンシップ（9/30-3/26，北大1名）
- ・事務職員TOEICスコアアップ研修（10/17-12/5，北大15名）
- ・事務職員英会話スキルアップ研修（10/18-12/6，北大16名）
- ・事務職員英会話スクール利用研修（10/2-1/21，北大17名）
- ・事務職員eラーニング利用研修（7/1-12/31，北大81名）
- ・TOEIC-IPテスト（希望者）（2回）（8/28・1/29，北大83名）
- ・事務職員海外短期集中研修（2回）（8/21-9/1，11/13-17，北大4名）
- ・北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修（12/14-15，北大8名，北大以外12名）
- ・北海道地区学生指導研修会（8/24-25，北大10名，北大以外32名）
- ・教務事務実務研修（11/9-10，北大18名）
- ・北海道大学における学生対応に関する研修会（2/8，北大65名）
- ・北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（Access初級編）（7/24-25，北大16名，北大8以外名）
- ・北海道地区国立大学法人等アドバイラストラレータ研修（10/16-17，北大19名，北大以外1名）
- ・利用支援課新任担当者実務研修（4/5-7，北大19名）
- ・附属図書館新任職員SD研修（4/17，北大11名）
- ・北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー（9/14-15，北大7名，北大以外11名）
- ・北海道地区国立大学法人等施設担当職員研修会（10/12-13，北大2名，北大以外14名）
- ・北海道地区国立大学法人等技術職員研修（8/23-25，北大29名，北大以外6名）
- ・ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座（9/7-11/14，北大9名）
- ・「プレゼンテーション」講座（2/14，北大11名）
- ・メディアトレーニング講座（9/12，北大31名）
- ・プレスリリース講座（11/21，北大58名）
- ・北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」（11/6-7，北大7名，北大以外27名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し，参加者の傾向や満足度等を分析し，次回以降の同行事の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。
毎年度，第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し，高等教育推進機構のホームページに公表している。

第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長、科目責任者へ通知している。また、アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて、各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい、提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

2. 大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター運営委員会、医学教育・国際交流推進センター会議

(※平成30年4月に大学院医学研究院医学教育推進センターから医学教育・国際交流推進センターに名称変更)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議

(※平成30年4月から大学院医学研究院医学教育推進センターは医学教育・国際交流推進センターに名称変更)

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会（H29.7.10, H29.12.13開催）
- ・大学院医学研究院医学教育推進センター会議（H29.5.31, H29.12.27開催）

c 委員会の審議事項等

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議

- ・医学教育の研究開発・企画、立案、実施にかかること
- ・教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること
- ・共用試験についての実施及び管理に関すること
- ・教員のFDについての企画及び実施に関すること
- ・その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議（平成29年度）

a 実施内容

- ・初任者対象の、カリキュラムプランニングについてのワークショップ
- ・医学教育の国際認証基準、カリキュラム改革の必要性、新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール、診療参加型実習の具体例、学習項目や評価方法、学外実習の準備状況などについて講義
- ・大学院教育、特に研究医養成の推進についてのワークショップ
- ・今後の医学教育と臨床実習後OSCEのトライアルを含む技能評価についての講義

b 実施方法

医学研究科、医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式、講義形式、講演会等のFDを実施し、受講証明書を発行した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年6月28日（23名）、7月27日（34名）、8月10日～11日（43名）
平成30年2月14日（35名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1の全学FDや専任教員の所属する教員組織におけるFDへの参加を強く推奨するほか、学院の自己点検評価・外部評価等を活用し、明らかになった問題点・課題について、教授会や教務委員会で検討を行い、教育改善に努める

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議

a 実施の有無及び実施時期

各学期末（前期：7月～8月、後期：1月～2月）に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

修了時アンケートの実施結果については、教務委員会において、カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。公開方法等については、今後、検討予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学の4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）及び医学院の理念（世界をリードする先進的医学研究の推進、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献）の下、医学・生命科学・社会医学（公衆衛生学）に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育の実践能力を備えた人材、並びに健康及び安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の養成を教育目標とする。

平成30年4月には医科学専攻修士課程学生32名が入学したが、医学院の教育目標に基づき、医学・生命科学・公衆衛生学領域の研究者や教育者として、医療・公衆衛生関連分野の高度専門職業人として、あるいは保健医療や保健政策マネジメントなどの専門家として、それぞれの領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を有した人材を養成する。

今後、教育実施体制、教育内容・方法、学業の成果、進路・就職状況等の観点から、教育活動及び教育成果の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに、学外者による外部評価を受けることとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・本学院のホームページ上に公開予定（時期未定）

③ 認証評価を受ける計画

・本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、平成33年度に次回の認証評価（大学改革支援・学位授与機構が実施）を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（ 平成30年 6月 1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 北海道大学

(2) 大 学 名 北海道大学

(3) 大学の位置

〒060-8638

北海道札幌市北区北15条西7丁目

(〒060-0808：北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ナワ トヨハル) 名和 豊春 (平成29年4月1日)		
学 院 長	(ヨシオカ ミツヒロ) 吉岡 充弘 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

〈博士課程〉

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医学院 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	医学関係	4年	90人	360人	基礎となる学部等 医学部医学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 90 (-) [-]	人 90 () []	人 90 () []	人 90 () []	人 90 () []	人 90 () []	人 90 () []	人 90 () []	1.02倍	
志願者数	88 (6) [5]	7 (0) [3]	98 (4) [8]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
受験者数	87 (6) [5]	7 (0) [3]	96 (4) [8]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
合格者数	84 (6) [5]	6 (0) [2]	96 (4) [8]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
B 入学者数	84 (6) [5]	6 (0) [2]	94 (4) [6]	 () []	 () []	 () []	 () []	 () []		
入学定員超過率 B／A	1		1.04							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。

(5)－③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	84 [5] (-)	6 [2] (-)	96 [6] (2)	6 [2] (-)						
2 年次			82 [5] (-)	- [-] (-)						
3 年次										
4 年次										
計	90 [7] (-)		184 [13] (2)							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

【平成29年度】

【平成30年度】

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈博士課程〉

2 授業科目の概要

＜大学院 医学院 医学専攻＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 コア 科目	医学研究概論	1前	1			3			1	2	1
	実験・研究計画法	1前	1			4	1				1
	公開発表演習	1・ 2・3 通	1			1		1	3		
	医倫理学	1前	1			6	1				1
	研究発表技法Ⅰ	1・ 2・3・ 4通	1			52	28	19	62		
	研究発表技法Ⅱ	1・ 2・3・ 4通	2			52	28	19	62		
	トランスレーショナル リサーチ概論	1前	1			1					
必修 科目 (基盤 医学 コース)	医学研究法Ⅰ	1・2 前	1			3	1	1	5		
	医学研究法Ⅱ	1・2 前・ 後	1			2		2	1		
	基盤医学研究Ⅰ	1～ 4通	4			52	28	19	62		
	基盤医学研究Ⅱ	1～ 4通	6			52	28	19	62		
必修 科目 (臨床 医学 コース)	臨床医学研究法Ⅰ	1・2 通	1			2					
	臨床医学研究法Ⅱ	1・2 通	1								1
	臨床医学研究Ⅰ	1～ 4通	4			27	18	10	19		
	臨床医学研究Ⅱ	1～ 4通	6			27	18	10	19		

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 コア 科目	医学研究概論	1前	1			3			2	1	1
	実験・研究計画法	1前	1			6					1
	公開発表演習	1・ 2・3 通	1			1	1		3		
	医倫理学	1前	1			3	1				1
	研究発表技法Ⅰ	1・ 2・3・ 4通	1			46	28	13	74		
	研究発表技法Ⅱ	1・ 2・3・ 4通	2			46	28	13	74		
	トランスレーショナル リサーチ概論	1前	1			2					
必修 科目 (基盤 医学 コース)	医学研究法Ⅰ	1・2 前	1			3	2	1	4		
	医学研究法Ⅱ	1・2 前・ 後	1			3			3		
	基盤医学研究	1～ 4通	10			45	28	13	74		
必修 科目 (臨床 医学 コース)	臨床医学研究法Ⅰ	1・2 通	1			1					
	臨床医学研究法Ⅱ	1・2 通	1			1					
	臨床医学研究	1～ 4通	10			22	19	5	29		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目 (社会医学コース)	社会医学研究法Ⅰ	1・2後	1			1					
	社会医学研究法Ⅱ	1・2後	1				1				
	社会医学研究Ⅰ	1～4通	4			5	5		7		
	社会医学研究Ⅱ	1～4通	6			5	5		7		
選択科目	医学総論	1・2・3・4前後		2		52	28	19	62		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目 (社会医学コース)	社会医学研究法Ⅰ	1・2後	1			1	1		1		
	社会医学研究法Ⅱ	1・2後	1								1
	社会医学研究	1～4通	10			6	3		8		
選択科目	医学総論	1・2・3・4前後		2		46	28	13	74		3

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 コア 科目	医学研究概論	1前	1			2			2	1	1
	実験・研究計画法	1前	1			5	1				
	公开发表演習	1・ 2・3 通	1			1	1		3		
	医倫理学	1前	1			7	1				1
	研究発表技法Ⅰ	1・ 2・3・ 4通	1			49	32	16	69		
	研究発表技法Ⅱ	1・ 2・3・ 4通	2			49	32	16	69		
	トランスレーショナル リサーチ概論	1前	1			1					
必修 科目 （基盤 医学 コース）	医学研究法Ⅰ	1・2 前	1			3	2	1	4		
	医学研究法Ⅱ	1・2 前・ 後	1			3			1		
	基盤医学研究	1～ 4通	10			48	32	16	69		
必修 科目 （臨床 医学 コース）	臨床医学研究法Ⅰ	1・2 通	1			1					
	臨床医学研究法Ⅱ	1・2 通	1			1					
	臨床医学研究	1～ 4通	10			25	21	7	24		
必修 科目 （社会 医学 コース）	社会医学研究法Ⅰ	1・2 後	1			1	1		2		
	社会医学研究法Ⅱ	1・2 後	1				1				
	社会医学研究	1～ 4通	10			6	4		9		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選 択 科 目	医学総論	1・2・ 3・4 前・ 後		2		49	32	16	69		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

〈博士課程〉

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

【共通コア科目】

- ・教育実施体制の見直しにより、「医学研究概論」の専任教員等の配置を「教授3から教授2」「助教1から助教2」「助手2から助手1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「実験・研究計画法」の専任教員等の配置を「教授4から教授5」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「公開発表演習」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「講師1から講師0」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「医倫理学」の専任教員等の配置を「教授6から教授7」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」及び「研究発表技法Ⅱ」の専任教員の配置を「教授52から教授49」「准教授28から32」「講師19から講師16」「助教62から助教69」に変更。

【必修科目（基盤医学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「医学研究法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授2」「助教5から助教4」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「医学研究法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2から教授3」「講師2から講師0」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」へ統合により新設し、「教授48、准教授32、講師16、助教69」の専任教員等を配置。

【必修科目（臨床医学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床医学研究法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2から教授1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床医学研究法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0から教授1」「兼任・兼任教員1から兼任・兼任教員0」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」へ統合により新設し、「教授25、准教授21、講師7、助教24」の専任教員等を配置。

【必修科目】

- ・教育課程を充実させるため、「社会医学研究法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0から准教授1」「助教0から助教2」に変更。
- ・効果的かつ効率的な教育を行うため「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」へ統合により新設し、「教授6、准教授4、助教9」の専任教員等を配置。

【選択科目】

- ・教育実施体制の見直しにより、「医学総論」の専任教員等の配置を「教授52から教授49」「准教授28から准教授32」「講師19から講師16」「助教62から助教69」に変更。

【平成30年度】

【共通コア科目】

- ・教育実施体制の見直しにより、「医学研究概論」の専任教員等の配置を「教授2から教授3」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「実験・研究計画法」の専任教員等の配置を「教授5から教授6」「准教授1から准教授0」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「医倫理学」の専任教員等の配置を「教授7から教授3」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「研究発表技法Ⅰ」及び「研究発表技法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授49から教授46」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教74」に変更。
- ・教育課程を充実させるため、「トランスレーショナルリサーチ概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

【必修科目（基盤医学コース）】

- ・教育課程を充実させるため、「医学研究法Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1から助教3」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「基盤医学研究」の専任教員等の配置を「教授48から教授45」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教74」に変更。

【必修科目（臨床医学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「臨床医学研究」の専任教員等の配置を「教授25から教授22」「准教授22から准教授19」「講師7から講師5」「助教24から助教29」に変更。

【必修科目（社会医学コース）】

- ・教育実施体制の見直しにより、「社会医学研究法Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教2から助教1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「社会医学研究法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1から准教授0」から「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員1」に変更。
- ・教育実施体制の見直しにより、「社会医学研究」の専任教員等の配置を「准教授4から准教授3」「助教9から助教8」に変更。

【選択科目】

- ・教育実施体制の見直しにより、「医学総論」の専任教員等の配置を「教授49から教授46」「准教授32から准教授28」「講師16から講師13」「助教69から助教74」「兼任・兼任教員0から兼任・兼任教員3」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
19 科目	1 科目	0 科目	20 科目	16 科目 [△3]	1 科目 [0]	0 科目 [0]	17 科目 [△3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

〈博士課程〉

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	基盤医学研究Ⅰ	4	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基盤医学研究(10単位)として開講(29)
2	基盤医学研究Ⅱ	6	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、基盤医学研究(10単位)として開講(29)
3	臨床医学研究Ⅰ	4	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、臨床医学研究(10単位)として開講(29)
4	臨床医学研究Ⅱ	6	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、臨床医学研究(10単位)として開講(29)
5	社会医学研究Ⅰ	4	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、社会医学研究(10単位)として開講(29)
6	社会医学研究Ⅱ	6	1～4通	専門	必修	効果的かつ効率的な教育を行うため、社会医学研究(10単位)として開講(29)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については、研究指導科目であり、全て効果的かつ効率的な教育を行うため、一つの科目に統合したものである。教育内容及び修了要件に影響はない。
学生に対しては、シラバスにて周知済みである。(29)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{20} = \boxed{30} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体			
	校 舎 敷 地	923,867 m ²	0 m ²	0 m ²	923,867 m ²				
	運動場用地	175,488 m ²	0 m ²	0 m ²	175,488 m ²				
	小 計	1,099,355 m ²	0 m ²	0 m ²	1,099,355 m ²				
	そ の 他	659,049,323 m ²	0 m ²	0 m ²	659,049,323 m ²				
	合 計	660,148,678 m ²	0 m ²	0 m ²	660,148,678 m ²				
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体				
	625,868 776,494 m ² (625,868 776,494 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	625,868 776,494 m ² (625,868 776,494 m ²)	計算誤りによる修正 (30)				
(3)教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	68室	0室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医学院			136 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学院単位での特定が不 能なため、北海道大学 全体の数 除却及び新規購入によ る修正(30)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	医学院	3,838,813 3,740,130 -(1,788,390) [1,748,330]	84,673 85,135 -(37,105) [36,991]	21,399 22,120 -(20,170) [20,825]	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 -(1,788,390) [1,748,330]	84,673 85,135 -(37,105) [36,991]	21,399 22,120 -(20,170) [20,825]	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
	計	3,838,813 3,740,130 -(1,788,390) [1,748,330]	84,673 85,135 -(37,105) [36,991]	21,399 22,120 -(20,170) [20,825]	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 -(1,788,390) [1,748,330]	84,673 85,135 -(37,105) [36,991]	21,399 22,120 -(20,170) [20,825]	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
(6)図 書 館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		同上		
	33,542 m ²		2,224 席		425 万冊				
(7)体 育 館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				同上		
	7,429 m ²		テニスコート(11)、野球場(3)、プール(2)、ホッケー・ハンドボール場(1)、陸上競技場(1)、サッカー・ラグビー場(1)、アメリカンフットボール・ラグロス場(1)、スポーツトレーニングセンター(1)、武道場(1)、剣道場(1)、弓道場(1)、洋弓場(1)、ライフル射撃場(1)、ボート艇庫(1)、ヨット艇庫(1)、馬場(1)、山小屋(5)						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称	国立大学法人 北海道大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は称号	平均入学 定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
文学部						1.04	S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部						1.07	S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50	③10	220	学士(教育学)	1.07	S24		
法学部						1.05	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	②10/③10	850	学士(法学)	1.05	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)	1.07	S28		
経営学科	4	90		360	学士(経営学)	1.06	S41		
理学部						1.03	S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.02	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.03	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.04	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.04	H6		
医学部						—	S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720	学士(看護学/保健学)	1.03	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
歯学部						0.99	S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	0.99	S42		
薬学部						—	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)	1.03	H18		
薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.03	H18		
工学部			③10			1.04	S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.05	H17		編入学定員は4学科共通であるため、収容定員には含めていない
情報工学科	4	180		720	学士(工学)	1.04	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.06	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.03	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)	1.04	H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)	1.04	H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)	1.04	S24		
獣医学部						1.03	S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.03	H24		

水産学部						1.01	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科		4	54		216	学士(水産学)	1.01	H18	
海洋資源科学科		4	53		212	学士(水産学)	1.01	H18	
増殖生命科学科		4	54		216	学士(水産学)	1.01	H18	
資源機能化学科		4	54		216	学士(水産学)	1.01	H18	
文学研究科							S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学専攻	M	2	14		28	修士(文学)	0.53	H12	
	D	3	6		18	博士(文学)	0.82	H12	
歴史地域文化学専攻	M	2	28		56	修士(文学/学術)	0.80	H12	
	D	3	11		33	博士(文学/学術)	0.81	H12	
言語文学専攻	M	2	29		58	修士(文学)	0.98	H12	
	D	3	11		33	博士(文学)	1.08	H12	
人間文化科学研究科	M	2	19		38	修士(文学)	1.65	H12	
	D	3	7		21	博士(文学)	1.04	H12	
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学専攻	M	2	20		40	修士(法学)	0.97	H12	
	D	3	15		45	博士(法学)	0.35	H12	
法律実務専攻	P	3	50		150	法務博士(専門職)	0.71	H16	
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学専攻	M	2	—		—	修士(医科学)	—	H14	
医学専攻	D	4	—		—	博士(医学)	—	H19	
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学専攻	M	2	48		96	修士(工学/情報科学)	1.15	H26	
	D	3	12		36	博士(工学/情報科学)	0.63	H26	
情報ソフトウェア専攻	M	2	39		78	修士(工学/情報科学)	1.21	H16	
	D	3	8		24	博士(工学/情報科学)	0.95	H16	
生命人間情報科学専攻	M	2	33		66	修士(工学/情報科学)	0.96	H16	
	D	3	6		18	博士(工学/情報科学)	0.61	H16	
データネットワーク専攻	M	2	30		60	修士(工学/情報科学)	1.21	H16	
	D	3	8		24	博士(工学/情報科学)	1.20	H16	
システム情報科学専攻	M	2	27		54	修士(工学/情報科学)	1.23	H16	
	D	3	8		24	博士(工学/情報科学)	1.37	H16	
水産科学院							H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学専攻	M	2	43		86	修士(水産科学)	1.11	H17	
	D	3	17		51	博士(水産科学)	0.31	H17	
海洋応用生命科学専攻	M	2	47		94	修士(水産科学)	1.29	H17	
	D	3	18		54	博士(水産科学)	0.58	H17	

環境科学院							H17	札幌市北区北10条西5丁目	
環境起学専攻	M	2	44	88	修士(環境科学)	0.74	H17		
	D	3	15	45	博士(環境科学)	0.50	H17		
地球圏科学専攻	M	2	35	70	修士(環境科学)	1.00	H17		
	D	3	14	42	博士(環境科学)	0.40	H17		
生物圏科学専攻	M	2	52	104	修士(環境科学)	1.00	H17		
	D	3	23	69	博士(環境科学)	0.59	H17		
環境物質科学専攻	M	2	28	56	修士(環境科学)	1.05	H17		
	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.57	H17		
理学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
数学専攻	M	2	46	92	修士(理学)	0.74	H18		
	D	3	17	51	博士(理学)	0.54	H18		
物性物理学専攻	M	2	24	48	修士(理学)	0.87	H18		
	D	3	10	30	博士(理学)	0.66	H18		
宇宙理学専攻	M	2	20	40	修士(理学)	0.87	H18		
	D	3	9	27	博士(理学)	1.03	H18		
自然史科学専攻	M	2	39	78	修士(理学)	1.29	H18		
	D	3	20	60	博士(理学)	0.80	H18		
農学院							H18	札幌市北区北9条西9丁目	
共生基盤学専攻	M	2	40	80	修士(農学)	0.97	H18		
	D	3	8	24	博士(農学)	1.24	H18		
生物資源科学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.18	H18		
	D	3	14	42	博士(農学)	0.59	H18		
応用生物科学専攻	M	2	18	36	修士(農学)	1.85	H18		
	D	3	6	18	博士(農学)	0.94	H18		
環境資源学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.29	H18		
	D	3	14	42	博士(農学)	0.56	H18		
生命科学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目	
生命科学専攻	M	2	116	232	修士(生命科学/農科学)	0.99	H18		
	D	3	38	114	博士(生命科学/農科学)	0.82	H18		
臨床薬学専攻	D	4	6	24	博士(臨床薬学)	1.37	H24		
リフトマター専攻	M	2	16	32	修士(リフトマター科学)	1.50	H30		
	D	3	6	18	博士(リフトマター科学)	0.83	H30		
教育学院							H19	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学専攻	M	2	45	90	修士(教育学)	0.99	H19		
	D	3	21	63	博士(教育学)	0.69	H19		
国際広報ｽﾏｰｲｱ・観光学院							H19	札幌市北区北17条西8丁目	
国際広報ｽﾏｰｲｱ専攻	M	2	27	54	修士(国際広報ｽﾏｰｲｱ学)	1.12	H19		
	D	3	14	42	博士(国際広報ｽﾏｰｲｱ学)	0.47	H19		
観光創造専攻	M	2	15	30	修士(観光学)	1.09	H19		
	D	3	3	9	博士(観光学)	0.99	H19		
保健科学院							H20	札幌市北区北12条西5丁目	
保健科学専攻	M	2	40	80	修士(保健科学/看護学)	1.14	H20		
	D	3	10	30	博士(保健科学/看護学)	0.93	H22		

工学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学専攻	M	2	33	66	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	9	27	博士(工学)	0.77	H22		
材料科学専攻	M	2	39	78	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学専攻	M	2	27	54	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システム工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.46	H22		
IT・環境システム専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
量子理工学専攻	M	2	20	40	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.60	H22		
環境フィールド工学専攻	M	2	24	48	修士(工学)	1.22	H22		
	D	3	6	18	博士(工学)	0.88	H22		
北方圏環境政策工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.09	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
建設都市空間工学専攻	M	2	22	44	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム専攻	M	2	27	54	修士(工学)	0.81	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境創生工学専攻	M	2	28	56	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境循環システム専攻	M	2	18	36	修士(工学)	1.27	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	2.00	H22		
共同資源工学専攻	M	2	10	20	修士(工学)	1.35	H29		
総合化学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学専攻	M	2	129	258	修士(総合化学)	1.18	H22		
	D	3	38	114	博士(理学/工学/総合化学)	1.10	H22		
経済学院							S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営専攻	M	2	35	70	修士(経済学/経営学)	1.31	H12		
	D	3	8	24	博士(経済学/経営学)	0.86	H12		
会計情報専攻	P	2	20	40	会計修士(専門職)	1.05	H17		
医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医科学専攻	M	2	20	40	修士(医科学/公衆衛生学)	1.55	H29		
医学専攻	D	4	90	360	博士(医学)	1.02	H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学専攻	D	4	40	160	博士(歯学)	0.82	H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学専攻	D	4	16	64	博士(獣医学)	0.97	H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医理工学専攻	M	2	12	24	修士(医理工学)	1.12	H29		
	D	3	5	15	博士(医理工学)	1.30	H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	
感染症学専攻	D	4	12	48	博士(感染症学/獣医学)	1.24	H29		

国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目	
国際食資源学専攻	M	2	15		30	修士(食資源学)	1.09	H29	
公共政策学教育部								H17	札幌市北区北9条西7丁目
公共政策学専攻	P	2	30		60	公共政策学修士(専門職)	1.19	H17	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院 医学院 医学専攻（博士課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月> 担当授業科目名
専	教授	有川 二郎 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究概論 医倫理学 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ	専	教授	有川 二郎 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究概論 医倫理学 基礎医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ	専	教授	有川 二郎 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究概論 医倫理学 基礎医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	秋田 弘俊 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 臨床医学研究法Ⅰ 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	秋田 弘俊 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 臨床医学研究法Ⅰ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	秋田 弘俊 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 臨床医学研究法Ⅰ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	教授	渥美 達也 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	渥美 達也 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	渥美 達也 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	教授	荒戸 照世 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ	専	教授	荒戸 照世 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 社会医学研究 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ	専	教授	荒戸 照世 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 社会医学研究 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ トランスレーショナ
専	教授	有賀 正 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医倫理学 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	有賀 正 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医倫理学 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ			
専	教授	石田 晋 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	石田 晋 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	石田 晋 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	教授	岩崎 倫政 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	岩崎 倫政 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ	専	教授	岩崎 倫政 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	教授	岩永 敏彦 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 医学研究概論	専	教授	岩永 敏彦 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 基礎医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 医学研究概論	専	教授	岩永 敏彦 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 基礎医学研究 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 医学研究概論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 教授		大滝 純司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専 教授		大場 雄介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専 教授		笠原 正典 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		神谷 温之 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		丸藤 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		久住 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		坂本 直哉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		佐々木 秀直 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医倫理学
専 教授		佐邊 壽孝 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		篠原 信雄 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 教授		大滝 純司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専 教授		大場 雄介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専 教授		笠原 正典 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		神谷 温之 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		丸藤 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		久住 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		坂本 直哉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		佐々木 秀直 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医倫理学
専 教授		佐邊 壽孝 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		篠原 信雄 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専 教授		大滝 純司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専 教授		大場 雄介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専 教授		笠原 正典 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		神谷 温之 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		久住 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		坂本 直哉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		佐々木 秀直 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医倫理学
専 教授		佐邊 壽孝 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専 教授		篠原 信雄 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	清水 宏 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	武富 紹信 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医倫理学
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	田中 伸哉 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	田中 真樹 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	玉木 長良 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	教授	玉腰 暁子 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		社会医学研究法Ⅰ
		医倫理学
専	教授	筒井 裕之 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	教授	豊嶋 崇徳 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	西浦 博 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	清水 宏 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	教授	武富 紹信 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医倫理学
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	教授	田中 伸哉 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		実験・研究計画法
		基礎医学研究
専	教授	田中 真樹 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
		基礎医学研究
専	教授	玉腰 暁子 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		社会医学研究法Ⅰ
		医倫理学
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	教授	豊嶋 崇徳 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
		医倫理学
専	教授	西浦 博 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	清水 宏 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	教授	武富 紹信 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	教授	田中 伸哉 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		実験・研究計画法
		基礎医学研究
専	教授	田中 真樹 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
		基礎医学研究
		実験・研究計画法
専	教授	玉腰 暁子 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		社会医学研究法Ⅰ
		医倫理学
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	教授	豊嶋 崇徳 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	教授	西浦 博 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専	教授	西村 正治 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
		畠山 鏡次 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 研究発表技法Ⅲ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ
		平野 聡 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
		松居 喜郎 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
		森本 裕二 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	教授	山本 有平 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
		吉岡 充弘 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 実験・研究計画法 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ
		渡辺 雅彦 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 公開発表演習 医学研究概論 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ
		福田 諭 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
		安田和則 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究Ⅰ 基盤医学研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 <就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専	教授	西村 正治 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	畠山 鎮次 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 基礎医学研究
専	教授	平野 聡 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	松居 喜郎 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	森本 裕二 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	山本 有平 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	吉岡 充弘 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 案検・研究計画法 基礎医学研究 医学研究法Ⅱ
専	教授	渡辺 雅彦 <平成29年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 公開発表演習 医学研究概論 基礎医学研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	畠山 鎮次 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 基盤医学研究
専	教授	平野 聡 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
専	教授	松居 喜郎 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
専	教授	森本 裕二 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
専	教授	山本 有平 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
専	教授	吉岡 充弘 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 実験・研究計画法 基盤医学研究 医学研究法Ⅱ
専	教授	渡辺 雅彦 ＜平成29年4月＞ 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅰ 公開発表演習 医学研究概論 基盤医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	櫻木 範明 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	水上 尚典 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	瀬谷 司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	三輪 聡一 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	資金 清博 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	教授	生駒 一憲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	教授	松野 吉宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	山下 啓子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	佐藤 典宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		トランスレーショナ
		医倫理学
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
専	教授	橋野 聡 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	資金 清博 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	生駒 一憲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	松野 吉宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	山下 啓子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	佐藤 典宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		トランスレーショナ
		医倫理学
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
専	教授	橋野 聡 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	資金 清博 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	生駒 一憲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	教授	松野 吉宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	山下 啓子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	教授	佐藤 典宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		トランスレーショナ
		医倫理学
		実験・研究計画法
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
専	教授	橋野 聡 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	廣瀬 哲郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	清野 研一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	野口 昌幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	村上 正晃 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	近藤 亨 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	外丸 詩野 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	朝倉 聡 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	伊藤 陽一 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		社会医学研究Ⅱ 医倫理学 実験・研究計画法 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	廣瀬 哲郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	清野 研一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	野口 昌幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	村上 正晃 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	近藤 亨 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	南須原 康行 ＜平成29年9月＞
		臨床医学研究Ⅱ
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ 社会医学研究
専	教授	安斉 俊久 ＜平成29年9月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	小林 弘一 ＜平成29年11月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	教授	渡利 美道 ＜平成30年3月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 臨床医学研究
専	准教授	外丸 詩野 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	朝倉 聡 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	伊藤 陽一 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		社会医学研究Ⅱ 医倫理学 実験・研究計画法 基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 社会医学研究Ⅰ 社会医学研究Ⅱ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	廣瀬 哲郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	清野 研一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	野口 昌幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	村上 正晃 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	近藤 亨 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	教授	南須原 康行 ＜平成29年9月＞
		臨床医学研究Ⅱ
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ 社会医学研究
専	教授	安斉 俊久 ＜平成29年9月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 臨床医学研究
専	教授	小林 弘一 ＜平成29年11月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	教授	渡利 美道 ＜平成30年3月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 臨床医学研究
専	准教授	外丸 詩野 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	朝倉 聡 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	岩永 ひろみ ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究
専	准教授	大西 俊介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	鬼丸 力也 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	神山 俊哉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	木下 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	工藤 正尊 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	久保 大輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	倉島 庸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	小華和 桓志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	准教授	今野 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	志賀 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	七戸 俊明 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	寺坂 俊介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	中川 伸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	中村 幸志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	准教授	西江 渉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	准教授	野田 航介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	小華和 桓志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	准教授	今野 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	志賀 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	七戸 俊明 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	寺坂 俊介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	中川 伸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	中村 幸志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
		社会医学研究Ⅰ
専	准教授	西江 渉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	野田 航介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	小華和 桓志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	准教授	今野 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	志賀 哲 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	七戸 俊明 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
		医倫理学
専	准教授	中村 幸志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
		社会医学研究Ⅰ
専	准教授	西江 渉 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	野田 航介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	南保 明日香 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	古川 洋志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	准教授	本間 明宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	准教授	矢部 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	准教授	若尾 宏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	北村 秀光 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	講師	山崎 美和子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
専	講師	泉 剛 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	南保 明日香 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	准教授	古川 洋志 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	教授	本間明宏 ＜平成29年11月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	矢部 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	北村 秀光 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	准教授	守屋 仁彦 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	中丸 裕爾 ＜平成30年2月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	山崎 美和子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	南保 明日香 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	教授	本間 明宏 ＜平成29年11月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	矢部 一郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	北村 秀光 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	准教授	守屋 仁彦 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	中丸 裕爾 ＜平成30年2月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	橋本 大吾 ＜平成30年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	山崎 美和子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	及川 司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	小野寺 康仁 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	絹川 真太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	講師	近藤 健 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	講師	新宮 康栄 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	講師	高橋 秀尚 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	高畑 雅彦 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	講師	谷野 美智枝 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	津田 真寿美 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	中山 若樹 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	及川 司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	小野寺 康仁 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	絹川 真太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	近藤 健 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	新宮 康栄 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	高橋 秀尚 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	高畑 雅彦 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	谷野 美智枝 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	准教授	津田 真寿美 ＜平成29年6月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	中山 若樹 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	及川 司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	小野寺 康仁 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	絹川 真太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	新宮 康栄 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	准教授	高畑 雅彦 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究
専	講師	谷野 美智枝 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ
専	講師	中山 若樹 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	早川 峰司 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	講師	舟山 恵美 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	講師	堀之内 孝広 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
専	講師	真崎 雄一 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		医学研究法Ⅱ
専	講師	森川 守 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	講師	保田 晋助 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	講師	山田 雅文 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
専	助教	浅井 雄介 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	早川 峰司 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	舟山 恵美 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	堀之内 孝広 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	講師	真崎 雄一 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	准教授	森川 守 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	保田 晋助 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	山田 雅文 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	浅井 雄介 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	講師	早川 峰司 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	舟山 恵美 ＜平成30年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	堀之内 孝広 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	講師	真崎 雄一 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	准教授	森川 守 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	准教授	保田 晋助 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	山田 雅文 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	AMENGUAL PLIEGO MARIA OLGA ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	浅井 雄介 ＜平成29年 4 月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	浅野 毅 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	新井明日菜 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	助教	有木 宏美 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	助教	稲場 直子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	助教	伊 敏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	助教	岩野 弘幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	岩見 大基 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	鵜川 重和 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	助教	内ヶ島 基政 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	内田 洋介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	浅野 毅 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	新井明日菜 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	有木 宏美 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	稲場 直子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	伊 敏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	岩野 弘幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	岩見 大基 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	鵜川 重和 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
		社会医学研究Ⅰ
専	助教	内ヶ島 基政 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究
専	助教	内田 洋介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	浅野 毅 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	新井明日菜 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	稲場 直子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	伊 敏 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	岩野 弘幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	岩見 大基 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	内ヶ島 基政 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究
専	助教	内田 洋介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	江川 潔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	榎木 亮介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	大塚 紀幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	大林 由英 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	助教	大平 洋 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	大村 優 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	小野澤 真弘 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	折茂 達也 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	加納 崇裕 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	川久保 和道 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	北市 雄士 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	江川 潔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	榎木 亮介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	大塚 紀幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	大林 由英 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	大平 洋 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	大村 優 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	小野澤 真弘 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	折茂 達也 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	加納 崇裕 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	川久保 和道 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	北市 雄士 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	江川 潔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	
専	助教	大塚 紀幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	大林 由英 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	大村 優 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		医学研究法Ⅱ
専	助教	小野澤 真弘 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	折茂 達也 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	
専	助教	川久保 和道 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	北市 雄士 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	GOUDARZI HOUMAN ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	木村 俊介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	KURKIN SERGEY ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	小林 純子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	今野 幸太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	金野 陽輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	佐々木 成子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	助教	清水 健太 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	志馬 寛明 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	杉本 智恵 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	助教	高橋 育子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	GOUDARZI HOUMAN ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	木村 俊介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究
専	助教	KURKIN SERGEY ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	講師	小林 純子 ＜平成30年3月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究
専	助教	今野 幸太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究
専	助教	金野 陽輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	佐々木 成子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	清水 健太 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	
専	助教	
専	助教	高橋 育子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	GOUDARZI HOUMAN ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	木村 俊介 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究
専	講師	小林 純子 ＜平成30年3月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		基礎医学研究
専	助教	今野 幸太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究
専	助教	金野 陽輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	佐々木 成子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	清水 健太 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	
専	助教	高橋 育子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専	助教	竹内 啓 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	助教	武田 真人 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	助教	築山 忠雄 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究
専	講師	津田 祥美 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究
専	助教	TERKAWI MOHAMAD ALAA HASAN SHEKH <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	助教	土佐 紀子 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究概論 基礎医学研究
専	助教	中澤 祐一 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究
専	助教	中村 透 <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	助教	PAUDEL SARAD <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 医学研究法Ⅱ 基礎医学研究
専	助教	橋本 あり <平成29年 4 月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	秦 洋郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	東 恒仁 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	助教	平田 健司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	藤岡 容一朗 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
専	助教	藤原 圭司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	坊垣 暁之 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	助教	本間 理央 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
専	助教	的場 光太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		社会医学研究Ⅰ
		社会医学研究Ⅱ
専	助教	三井 信幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ
		臨床医学研究Ⅰ
		臨床医学研究Ⅱ
専	助教	宮崎 太輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究Ⅰ
		基礎医学研究Ⅱ

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	秦 洋郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	東 恒仁 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	平田 健司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	藤岡 容一朗 ＜平成30年2月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	藤原 圭司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	坊垣 暁之 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	本間 理央 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	的場 光太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	三井 信幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	宮崎 太輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	秦 洋郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	東 恒仁 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	平田 健司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	講師	藤岡 容一朗 ＜平成30年2月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	藤原 圭司 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	坊垣 暁之 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	本間 理央 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
専	助教	的場 光太郎 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		社会医学研究
専	助教	三井 信幸 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究
		臨床医学研究
専	助教	宮崎 太輔 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		医学研究法Ⅰ
		公開発表演習
		基礎医学研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	助教	宮武 由甲子 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	村上 壮一 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	村上 学 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	山野邊 貴信 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	横田 卓 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ 臨床医学研究Ⅰ 臨床医学研究Ⅱ
専	助教	吉田 隆行 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
専	助教	渡部 昌 ＜平成29年4月＞
		医学総論
		研究発表技法Ⅰ
		研究発表技法Ⅱ
		基礎医学研究Ⅰ 基礎医学研究Ⅱ
		</

[illegible][illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専 助教		渡部 拓 <平成30年1月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
		趙 文静 <平成30年3月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 社会医学研究 社会医学研究Ⅰ
		鄭 森 <平成30年3月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
		董 培新 <平成30年3月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
		李 效貞 <平成30年3月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 社会医学研究 社会医学研究
専 助教		王 磊 <平成30年3月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究
		石田 雄介 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究
		岩田 大樹 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
		長内 俊也 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
		加藤 健雄 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
専 助教		久保田 卓 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 臨床医学研究
		佐島 仁 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究
		鈴木 智貴 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究
		西谷 直也 <平成30年4月> 医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基盤医学研究 医学研究Ⅱ

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								橋本 直樹 ＜平成30年4月＞
						専	助教	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
								本間 重紀 ＜平成30年4月＞
						専	助教	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
								前田 拓 ＜平成30年4月＞
						専	助教	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
								松本 隆児 ＜平成30年4月＞
						専	助教	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
								森川 賢一 ＜平成30年4月＞
						専	助教	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
								谷川 聖 ＜平成30年5月＞
						専	助教	医学総論 研究発表技法Ⅰ 研究発表技法Ⅱ 基礎医学研究 臨床医学研究
専	助手	中村 秀樹 ＜平成29年4月＞	専	助手	中村 秀樹 ＜平成29年4月＞	専	助手	中村 秀樹 ＜平成29年4月＞
		医学研究概論			医学研究概論			医学研究概論
専	助手	吉田 伊織子 ＜平成29年4月＞						
		医学研究概論						
兼任	教授	小笠原 克彦 ＜平成29年4月＞	兼任	教授	小笠原 克彦 ＜平成29年4月＞	兼任	教授	小笠原 克彦 ＜平成29年4月＞
		医倫理学			医倫理学			医倫理学
兼任	教授	久下 裕司 ＜平成29年4月＞	兼任	教授	久下 裕司 ＜平成29年4月＞	兼任	教授	久下 裕司 ＜平成29年4月＞
		医学研究概論			医学研究概論			医学研究概論 医学総論
兼任	准教授	南須原 康行 ＜平成29年4月＞	兼任	准教授	南須原 康行 ＜平成29年4月＞			
		臨床医学研究法Ⅱ			臨床医学研究法Ⅱ			
						兼任	准教授	津田 真寿美 ＜平成30年4月＞
								医学総論
兼任	非常 勤講 師	岸 玲子 ＜平成29年4月＞						
		実験・研究計画法						
						兼任	非常 勤講 師	伊藤 陽一 ＜平成30年4月＞
								医学総論 社会医学研究法Ⅱ 実験・研究計画法

（注）・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。

・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。

・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。

・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。

・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

〈博士課程〉

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

1. 科目の変更等

(1) 科目統廃合について

- (専) 有川二郎教授他 161名(教授52名, 准教授28名, 講師19, 助教62)が受け持つ「基盤医学研究Ⅰ」「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に統合。
 (専) 秋田弘俊教授他 74名(教授27名, 准教授18名, 講師10名, 助教19名)が受け持つ「臨床医学研究Ⅰ」「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に統合。
 (専) 荒戸照世教授他 17名(教授5名, 准教授5名, 助教7名)が受け持つ「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」へ統合。

(2) 科目の担当について

- (専) 有川二郎教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 秋田弘俊教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 秋田弘俊教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 渥美達也教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 渥美達也教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 荒戸照世教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 荒戸照世教授 「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
 (専) 有賀正教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 有賀正教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 石田晋教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 石田晋教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 岩崎倫政教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 岩崎倫政教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 岩永敏彦教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 岩永敏彦教授 教育体制の見直しにより「医学研究概論」の担当を「有川二郎教授」「渡辺雅彦教授」「土佐紀子助教」「山野邊貴信助教」「中村秀樹助教」「久下裕司兼担教授」へ変更。
 (専) 大滝純司教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 大滝純司教授 「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
 (専) 大場雄介教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 笠原正典教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 神谷温之教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 丸藤哲教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 丸藤哲教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 久住一郎教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 久住一郎教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 坂本直哉教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 坂本直哉教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 佐々木秀直教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 佐々木秀直教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 佐邊壽孝教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 篠原信雄教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 篠原信雄教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 清水宏教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 清水宏教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 武富紹信教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 武富紹信教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 田中伸哉教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 田中真樹教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 玉腰暁子教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 玉腰暁子教授 「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
 (専) 豊嶋崇徳教授 「実験・研究計画法」を追加。
 (専) 豊嶋崇徳教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 豊嶋崇徳教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 西浦博教授 「医倫理学」を追加。
 (専) 西浦博教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 西浦博教授 「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
 (専) 西村正治教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 西村正治教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 畠山鎮次教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 平野聡教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 平野聡教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 松居吉郎教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 松居吉郎教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 森本裕二教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 森本裕二教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 山本有平教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 山本有平教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 吉岡充弘教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 吉岡充弘教授 「医学研究法Ⅱ」を追加。
 (専) 渡辺雅彦教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 寶金清博教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 寶金清博教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 生駒一憲教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 生駒一憲教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 松野吉宏教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 松野吉宏教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 山下啓子教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 山下啓子教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 佐藤宏教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 佐藤宏教授 「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
 (専) 佐藤宏教授 教育体制の見直しにより「臨床医学研究Ⅰ」の担当を「秋田弘俊教授」へ変更。
 (専) 橋野聡教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 橋野聡教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 廣瀬哲郎教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 清野研一郎教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 野口昌幸教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 村上正晃教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 近藤亨教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 外丸詩野准教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 朝倉聡准教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 朝倉聡准教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 伊藤陽一准教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 伊藤陽一准教授 「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
 (専) 岩永ひろみ准教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 大西俊介准教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 大西俊介准教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
 (専) 鬼丸力也准教授 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
 (専) 鬼丸力也准教授 「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。

[illegible]

(専) 小野澤真弘助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 折茂達也助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。

(専) 加納崇裕助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 川久保和道助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 北市雄士助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) Goudarzi Housman助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 木村俊介助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) Kurkin Sergey助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。

(専) 小林純子助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 今野幸太郎助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 金野陽輔助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 佐々木成子助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
(専) 清水健太助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 高橋育子助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 竹内啓助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 武田真人助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 築山忠雄助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 津田祥美講師 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。

(専) Terkawi Mohamad Alaa Hasan Shekh助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 土佐紀子助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 中澤祐一助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 中村透助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 西出真也助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) Paudel Sarad助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 橋本あり助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 秦洋郎助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 東恒仁助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 平田健司助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 藤岡容一朗助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。

(専) 藤原圭司助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 坊垣暁之助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 本間理央助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 的場光太郎助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「社会医学研究Ⅰ」および「社会医学研究Ⅱ」を「社会医学研究」に変更。
(専) 三井信幸助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 宮崎太輔助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。

(専) 宮武由甲子助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 村上壮一助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 村上学助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 山野道貴助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「医学研究概論」を追加。
(専) 横田卓助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
「臨床医学研究Ⅰ」および「臨床医学研究Ⅱ」を「臨床医学研究」に変更。
(専) 吉田隆行助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。
(専) 渡部昌助教 「基盤医学研究Ⅰ」および「基盤医学研究Ⅱ」を「基盤医学研究」に変更。

2. 教員の就任辞退、追加、昇任等

(1) 就任辞退・辞任について

①就任辞退（未就任）

(専) 玉木良良教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：採用時期未定）
(専) 簡井裕之教授 平成28年7月退職のため就任辞退（後任：安斉俊久教授）
(専) 福田諭教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：本間明宏教授）
(専) 櫻木範明教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：渡利英道教授）
(専) 安田和則教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：採用時期未定）
(専) 水上尚典教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：採用時期未定）
(専) 瀬谷司教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：小林弘一教授）
(専) 三輪聡一教授 平成28年9月退職のため就任辞退（後任：採用時期未定）
(専) 若尾宏准教授 平成28年12月退職のため就任辞退（後任：採用時期未定）
(専) 泉剛准教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：西谷直也助教）
(専) 志馬寛明准教授 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：採用時期未定）
(専) 杉本智恵助教 平成29年3月退職のため就任辞退（後任：都築慎也助教）

※就任辞退者等が担当を予定していた科目はいずれも同じ研究分野の専任教員が担当しているため支障は無い。

②辞任

(専) 北村信人准教授 平成29年4月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 中川伸准教授 平成29年9月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 高橋秀尚講師 平成29年9月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 有木宏美助教 平成29年5月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 榎木亮介助教 平成29年12月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 加納崇裕助教 平成29年6月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 西出真也助教 平成29年7月退職のため辞任（後任：採用時期未定）
(専) 大平洋助教 平成30年1月に他部局異動のため辞任。（後任：渡部拓助教）

※就任辞退者等が担当を予定していた科目はいずれも同じ研究分野の専任教員が担当しているため支障は無い。

(2) 教員の追加について

教育体制の見直しにより、専任教員として以下の教員を追加。

・平成29年1月

(専) 守屋仁彦准教授 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
(専) 杉野弘和助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
(専) 竹谷隆司助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
(専) 中川雅大助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
(専) 鷲尾浩平助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当

・平成29年6月

(専) 都築慎也助教 (杉本智恵助教後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「社会医学研究」を担当

・平成29年7月

(専) 水柿秀紀助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当

・平成29年9月

(専) 安斉俊之教授 (簡井裕之教授後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当

・平成29年11月

(専) 小林弘一教授 (瀬谷司教授後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当

- ・平成30年 1 月
(専) 渡部拓助教 (大平洋助教後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- ・平成30年 2 月
(専) 中丸裕爾助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- ・平成30年 3 月
(専) 渡利英道教授 (櫻木範明教授後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
(専) 王森助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
(専) 趙文静助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「社会医学研究」「社会医学研究Ⅰ」を担当
(専) 董培新助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
(専) 鄭森助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
(専) 李效貞助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「社会医学研究」を担当

(3) 教員配置の見直しについて

教育体制の見直しにより以下の教員について担当外とする。

- (専) 古田伊都子助手 担当を予定していた授業科目については「渡辺雅彦教授」「土佐紀子助教」「山野邊貴信助教」「中村秀樹助手」
「久下裕司兼担教授」が担当。
- (兼任) 岸玲子兼任非常勤講師 担当を予定していた授業科目については「大滝純司教授」「田中伸哉教授」「玉腰暁子教授」「吉岡充弘教授」
「佐藤典宏教授」「伊藤陽一准教授」が担当。

(4) 教員の昇任について

- (専) 山崎美和子講師を准教授に昇任。
- (専) 高畑雅彦講師を准教授に昇任。
- (専) 津田真寿美講師を准教授に昇任。
- (専) 森川守講師を准教授に昇任。
- (専) 保田晋助講師を准教授に昇任。
- (専) 津田祥美助教を講師に昇任。
- (専) 本間明宏准教授を教授に昇任。(福田諭教授後任)
- (専) 藤岡容一朗助教を講師に昇任。
- (専) 小林純子助教を講師に昇任。
- (専) 南須原康行兼担准教授を専任教授に昇任。「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「社会医学研究」を追加。

【平成30年度】

1. 科目の変更等

(1) 科目の担当について

- (専) 荒戸照世教授 「トランスレーショナルリサーチ概論」を追加。
- (専) 武富昭信教授 教育体制の見直しにより「医倫理学」の担当を「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「七戸俊明准教授」
「小笠原克彦兼担教授」へ変更。
- (専) 田中真樹教授 「実験・研究計画法」を追加。
- (専) 玉腰暁子教授 「医学研究概論」を追加。
- (専) 豊嶋崇徳教授 教育体制の見直しにより「医倫理学」の担当を「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「七戸俊明准教授」
「小笠原克彦兼担教授」へ変更。
- (専) 佐藤典宏教授 教育体制の見直しにより「医倫理学」の担当を「有川二郎教授」「佐々木秀直教授」「玉腰暁子教授」「七戸俊明准教授」
「小笠原克彦兼担教授」へ変更。
- (専) 七戸俊明准教授 「医倫理学」を追加。
- (専) 大村俊助教 「医学研究Ⅱ」を追加。
- (兼担) 久下裕司教授 「医学総論」を追加。

2. 教員の就任辞任、追加、昇任等

(1) 辞任について

- (専) 有賀正教授 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 丸藤哲教授 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 西村正治教授 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) KURKIN SERGEY助教 平成30年3月定年退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 古川洋志准教授 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 川畑秀伸准教授 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 鶴川重和助教 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 寺坂俊介准教授 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 鷲尾浩平助教 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 近藤健講師 平成30年3月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 伊藤陽一准教授 平成30年3月退職のため辞任。兼任教員に変更。(後任：採用予定・時期未定)
- (専) 谷野美智枝講師 平成30年4月退職のため辞任。(後任：採用時期未定)
- (専) 津田真寿美准教授 平成30年4月に他大学院異動のため辞任。兼任教員に変更。

※担当していた科目はいずれも同じ研究分野の専任教員等が担当しているため支障は無い。

(2) 教員の追加について

①教育体制の見直しにより、平成30年4月に専任教員として以下の教員を追加。

- ・平成30年 4 月
(専) 橋本大吾准教授 (近藤健講師後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 森川賢一助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
- (専) 加藤徳雄助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 本間重紀助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
- (専) 西谷直也助教 (泉剛講師後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「医学研究Ⅱ」を担当
- (専) 石田雄介助教 (津田真寿美准教授後任) 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
- (専) 松本隆児助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 岩田大樹助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 久保田卓助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 橋本直樹助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 長内俊也助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- (専) 鈴木智樹助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
- (専) 笹島仁助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
- (専) 前田拓助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」「臨床医学研究」を担当
- ②教育体制の見直しにより、平成30年5月に専任教員として以下の教員を追加。
(専) 谷川聖助教 「医学総論」「研究発表技法Ⅰ」「研究発表技法Ⅱ」「基盤医学研究」を担当
- ③教育体制の見直しにより、平成30年4月に兼任・兼任教員として以下の教員を追加。
(兼担) 津田真寿美准教授 「医学総論」を担当。
(兼任) 伊藤陽一非常勤講師 「医学総論」「社会医学研究Ⅱ」「実験・研究計画法」を担当

(3) 教員の昇任について

- (専) 舟山恵美講師を准教授に昇任。
- (専) 渡部昌助教を講師に昇任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
45 名	30 名	15 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設 置 時 の 計 画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
52	28	19	62	161	46	28	13	74	161	46	28	13	74	161
(44)	(32)	(15)	(63)	(154)						[△6]	[0]	[△6]	[12]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
57	104	0			53	108	0			53	108	0		
(52)	(102)	(0)								[△4]	[4]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要書済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{161}{161} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{161} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈博士課程〉

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	玉木長良	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
2	教授	筒井裕之	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年7月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
4	教授	福田諭	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
5	教授	安田和則	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
6	教授	櫻木範明	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
7	教授	水上尚典	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
8	教授	瀬谷 司	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年3月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
3	教授	三輪聡一	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年9月退職のため、就任辞退(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①	
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	

9	准教授	若尾 宏	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成28年12月退職のため、就任辞退(29)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①								
			必修	社会医学研究Ⅰ	①								
			必修	社会医学研究Ⅱ	①								
			選択	医学総論	①								
10	講師	泉 剛	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①								
			選択	医学総論	①								
11	助教	志馬寛明	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①								
			選択	医学総論	①								
12	助教	杉本智恵	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年3月退職のため、就任辞退(29)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅰ	①								
			必修	基盤医学研究Ⅱ	①								
			必修	社会医学研究Ⅰ	①								
			必修	社会医学研究Ⅱ	①								
			選択	医学総論	①								
13	助手	古田伊都子	必修	医学研究概論	①	平成29年3月教育体制の見直しのため、担当外とした(30)							
合計（Ｄ）					後任補充状況の集計（Ｅ）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
13	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	北村信人	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年4月退職のため辞任(29)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基本医学研究Ⅰ	①	
			必修	基本医学研究Ⅱ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅰ	①	
			必修	臨床医学研究Ⅱ	①	
			選択	医学総論	①	
2	准教授	中川 伸	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年9月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
			選択	医学総論	①	

3	准教授	古川 洋志	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
4	准教授	伊藤 陽一	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任。兼任教員に変更(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	社会医学研究Ⅱ	②	
			必修	医倫理学	①	
			必修	実験・研究計画法	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
5	准教授	寺坂 俊介	選択	医学総論	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅰ	①	
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
6	准教授	川畑 秀伸	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	社会医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
7	准教授	津田 真寿美	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年4月他大学院担当のため辞任。兼任教員に変更。(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
8	講師	高橋 秀尚	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年9月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
9	講師	近藤 健	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
10	講師	谷野美智枝	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年4月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
11	助教	有木 宏美	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年5月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
12	助教	加納 崇裕	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年6月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
13	助教	西出 真也	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年7月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			選択	医学総論	①	
14	助教	榎木 亮介	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成29年12月退職のため辞任(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			選択	医学総論	①	

15	助教	大平 洋	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年1月他部局異動のため辞任。(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究	①								
			必修	臨床医学研究	①								
			選択	医学総論	①								
16	助教	鶴川 重和	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月退職のため辞任(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究	①								
			必修	社会医学研究	①								
			必修	社会医学研究法Ⅰ	①								
			選択	医学総論	①								
17	助教	鷲尾 浩平	必修	基盤医学研究	①	平成30年3月退職のため辞任(30)							
			必修	研究発表技法Ⅰ	①								
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			選択	医学総論	①								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
17	人	必修	13	科目	必修	12	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	13	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
30	人	必修	22 科目	必修	21 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	24 科目	計	23 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{30}{161} = \boxed{18.63} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	西村 正治	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職(30)
			必修	研究発表技法Ⅱ	①	
			必修	基盤医学研究	①	
			必修	臨床医学研究	①	
			選択	医学総論	①	

2	教授	丸藤 哲	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究	①								
			必修	臨床医学研究	①								
			選択	医学総論	①								
3	教授	有賀 正	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	医倫理学	①								
			必修	基盤医学研究	①								
			必修	臨床医学研究	①								
		KURKIN SERGEY	必修	研究発表技法Ⅰ	①	平成30年3月31日付け65歳で定年退職(30)							
			必修	研究発表技法Ⅱ	①								
			必修	基盤医学研究	①								
			必修	臨床医学研究	①								
			選択	医学総論	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
4	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該退職教員等が担当していた授業科目については、同じ研究分野を専門とする専任教員が十分にいることから、教育上の支障はない。また、年度ごとに更新するシラバスや時間割に担当教員を掲載することで、学生へ周知をしている。(29)

医学院の授業科目を担当する教員については、附属病院の診療業務との兼ね合いにより毎年度担当の変更が生じるものもあるが、同じ研究分野の教員で担当するなど、授業実施にあたり、支障が生じないよう計画している。
平成30年度においても、教授3名、准教授6名、講師3名、助教8名が退職等により辞任しているが、授業科目の実施に必要な、同じ研究分野を専門とする専任教員を十分に確保していること。また、他大学への異動退職などで専任教員の補充が間に合っていない科目については、一時的に異動先からの兼任教員として学生の履修に不利益が生じないよう対応している。併せて、今後の継続的な教育体制の構築に向け、助教23名を採用するなど、教育上において支障が出ないよう計画している。
学生への周知については、年度毎に更新するシラバスや時間割に担当教員を掲載することで対応している(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (2 9 年 4 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (3 0 年 2 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜大学院医学院 医学専攻（博士課程）＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

① 実施体制

a 委員会の設置状況

高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成27年度2回開催，平成28年度1回開催，平成29年度1回開催

c 委員会の審議事項等

- ・教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関する事
- ・職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関する事
- ・総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関する事
- ・その他教職員等の研修に関する事

② 実施状況

a 実施内容

本学教職員を対象としたFD・SDの実施

b 実施方法

ワークショップ形式、講義形式、講演会等の本学教職員を対象としたFD・SDの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・知って活用したい北大の教員支援制度（4/21，北大22名）
- ・メンタルヘルスケア講演会～対学生メンタルヘルスケア編（5/15，北大28名，北大以外14名）
- ・効果的なグループワークのためのファシリテーション入門ワークショップ（5/19，北大11名，北大以外10名）
- ・講演会「『アクティブ・ラーニング時代』の大人数講義法の基本」（5/30，北大46名，北大以外34名）
- ・講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（6/14，北大15名，北大以外17名）
- ・問いと学習環境を意識した授業づくりの方向性ワークショップ（北大7名，北大以外6名）
- ・第32回北海道大学教育ワークショップ（6/23-24，北大15名，北大以外2名）
- ・メンタルヘルスケア講演会～対教職員メンタルヘルスケア編（6/26，北大39名，北大以外21名）
- ・ルーブリック評価入門ワークショップ（7/5，北大8名，北大以外13名）
- ・講演会「多様な学習動機への対応」（7/21，北大22名，北大以外16名）
- ・講演会「発達障害のある学生の理解と対応」（共催）（8/8，北大43名，北大以外21名）
- ・講演会「円滑な講義・演習のための高等教育における学びのユニバーサルデザイン」（共催）（8/9，北大18名，北大以外9名）
- ・講演会「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」（8/10，北大21名，北大以外10名）
- ・授業運営の苦悩～解決策を探る（8/18，北大5名，北大以外6名）
- ・Teaching in Englishワークショップ（8/21，北大13名，北大以外4名）
- ・北海道FD・SDフォーラム2017（9/1，北大35名，北大以外63名）
- ・シンポジウム「アクティブラーニングは日本の教育を変えるのか」（9/2，北大17名，北大以外66名）
- ・Workshop on creating rubrics（9/8，北大7名）
- ・第33回北海道大学教育ワークショップ（9/14-15，北大16，北大以外5名）
- ・アクティブラーニング導入ワークショップ（9/20，北大7名，北大以外7名）
- ・ルーブリック評価入門ワークショップ（9/22，北大12名，北大以外14名）
- ・講演会「伝わる話し方を心がけて」（10/23，北大57名，北大以外10名）

- ・ E L M S 講習会～授業で E L M S を活用する～（11/10・13, 北大32名）
- ・ 第34回北海道大学教育ワークショップ（11/17-18, 北大14名, 北大以外1名）
- ・ 講演会「学習意欲を高め維持するプレゼンテーションの技法」（11/24, 北大45名, 北大以外22名）
- ・ Classroom management techniques for classes conducted in English（12/8, 北大12名, 北大以外1名）
- ・ シラバスのブラッシュアップ研修（12/9, 北大4名, 北大以外3名）
- ・ 求められる学習支援を考える（12/15, 北大8名, 北大以外8名）
- ・ 英文Eメールライティング研修（フォーマット編）（1/26, 北大14名, 北大以外5名）
- ・ 英文Eメールライティング研修（表現編）（1/27, 北大16名, 北大以外4名）
- ・ 英語コミュニケーション研修（リスニング編）（2/16, 北大25名, 北大以外3名）
- ・ 英語コミュニケーション研修（スピーキング編）（2/17, 北大22名, 北大以外3名）
- ・ アクティブラーニング導入ワークショップ（2/21, 北大7名, 北大以外2名）
- ・ ルーブリック評価入門ワークショップ（2/22, 北大11名, 北大以外6名）
- ・ 英語プレゼンテーション研修（3/6・7, 北大4名）
- ・ アカデミック・ライティング研修（3/14, 北大10名, 北大以外2名）
- ・ 改めて教育の質保証を検討する（3/15, 北大3名, 北大以外14名）
- ・ FD・SD研修企画マネジメント（3/15, 北大8名, 北大以外9名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等初任職員研修（4/12-14, 北大52名, 北大以外26名）
- ・ 初任事務職員英語研修（6/6-7/27, 北大49名）
- ・ 初任事務職員実地研修（8/22-9/1, 北大49名）
- ・ 初任事務職員フォローアップ研修（11/10, 北大47名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等中堅職員研修（6/12-14, 北大22名, 北大20以外名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等係長研修（12/13-15, 北大17名, 北大以外16名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等会計基準研修（10/11-13, 北大24名, 北大以外15名）
- ・ 会計実務研修（7/24-26, 北大15名）
- ・ 事務職員英会話研修（5/19-12/15, 北大16名）
- ・ 事務職員海外語学研修（ニュージーランド）（10/6-11/19, 北大1名）
- ・ 事務職員海外語学研修（カナダ）（10/22-12/21, 北大1名）
- ・ 事務職員海外インターンシップ（9/30-3/26, 北大1名）
- ・ 事務職員TOEICスコアアップ研修（10/17-12/5, 北大15名）
- ・ 事務職員英会話スキルアップ研修（10/18-12/6, 北大16名）
- ・ 事務職員英会話スクール利用研修（10/2-1/21, 北大17名）
- ・ 事務職員eラーニング利用研修（7/1-12/31, 北大81名）
- ・ TOEIC-IPテスト（希望者）（2回）（8/28・1/29, 北大83名）
- ・ 事務職員海外短期集中研修（2回）（8/21-9/1, 11/13-17, 北大4名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修（12/14-15, 北大8名, 北大以外12名）
- ・ 北海道地区学生指導研修会（8/24-25, 北大10名, 北大以外32名）
- ・ 教務事務実務研修（11/9-10, 北大18名）
- ・ 北海道大学における学生対応に関する研修会（2/8, 北大65名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（Access初級編）（7/24-25, 北大16名, 北大8以外名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等アドバイラストラレータ研修（10/16-17, 北大19名, 北大以外1名）
- ・ 利用支援課新任担当者実務研修（4/5-7, 北大19名）
- ・ 附属図書館新任職員SD研修（4/17, 北大11名）
- ・ 北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー（9/14-15, 北大7名, 北大以外11名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等施設担当職員研修会（10/12-13, 北大2名, 北大以外14名）
- ・ 北海道地区国立大学法人等技術職員研修（8/23-25, 北大29名, 北大以外6名）
- ・ ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座（9/7-11/14, 北大9名）
- ・ 「プレゼンテーション」講座（2/14, 北大11名）
- ・ メディアトレーニング講座（9/12, 北大31名）
- ・ プレスリリース講座（11/21, 北大58名）
- ・ 北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」（11/6-7, 北大7名, 北大以外27名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し、参加者の傾向や満足度等を分析し、次回以降の同行事の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。
毎年度、第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し、高等教育推進機構のホームページに公表している。

第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部署長、科目責任者へ通知している。また、アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて、各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい、提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

2. 大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター運営委員会、医学教育・国際交流推進センター会議

(※平成30年4月に大学院医学研究院医学教育推進センターから医学教育・国際交流推進センターに名称変更)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議

(※平成30年4月から大学院医学研究院医学教育推進センターは医学教育・国際交流推進センターに名称変更)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

・大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会(H29.7.10, H29.12.13開催)

・大学院医学研究院医学教育推進センター会議(H29.5.31, H29.12.27開催)

c 委員会の審議事項等

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議

- ・医学教育の研究開発・企画、立案、実施にかかること
- ・教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること
- ・共用試験についての実施及び管理に関すること
- ・教員のFDについての企画及び実施に関すること
- ・その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

2. 大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議(平成29年度)

a 実施内容

- ・初任者対象の、カリキュラムプランニングについてのワークショップ
- ・医学教育の国際認証基準、カリキュラム改革の必要性、新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール、診療参加型実習の具体例、学習項目や評価方法、学外実習の準備状況などについて講義
- ・大学院教育、特に研究医養成の推進についてのワークショップ
- ・今後の医学教育と臨床実習後OSCEのトライアルを含む技能評価についての講義

b 実施方法

医学研究科、医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式、講義形式、講演会等のFDを実施し、受講証明書を発行した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

平成29年6月28日(23名)、7月27日(34名)、8月10日～11日(43名)

平成30年2月14日(35名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1の全学FDや専任教員の所属する教員組織におけるFDへの参加を強く推奨するほか、学院の自己点検評価・外部評価等を活用し、明らかになった問題点・課題について、教授会や教務委員会で検討を行い、教育改善に努める

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会、医学教育推進センター会議

a 実施の有無及び実施時期

各学期末(前期:7月～8月、後期:1月～2月)に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

修了時アンケートの実施結果については、教務委員会において、カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。公開方法等については、今後、検討予定である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学の4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）及び医学院の理念（世界をリードする先進的医学研究の推進、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献）の下、医学・生命科学・社会医学（公衆衛生学）に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育の実践能力を備えた人材、並びに健康及び安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の養成を教育目標とする。

平成30年4月には医学専攻博士課程学生94名が入学したが、医学院の教育目標に基づき、国内外の大学・研究機関における国際的な研究者、医療機関における研究医、又は行政機関・企業等において保健医療行政に携わる高度専門職業人として活躍し、病態・病因の解明や新規治療法の開発による疾病の克服、ひいては社会全体の人々の健康と安全に貢献するために必要な基盤医学、臨床医学又は社会医学の領域において優れた貢献を行い、また、社会的に有意義な活動を行える高度な能力を有した人材を養成する。

今後、教育実施体制、教育内容・方法、学業の成果、進路・就職状況等の観点から、教育活動及び教育成果の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに、学外者による外部評価を受けることとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 未定

b 公表方法

・ 本学院のホームページ上に公開予定（時期未定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、平成33年度に次回の認証評価（大学改革支援・学位授与機構が実施）を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

（ ☒ 有 ☐ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（ 平成30年 6月 1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会内規

(平成 27 年 4 月 1 日制定)

(趣旨)

第 1 条 この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程（平成 22 年海大達第 243 号）第 30 条第 3 項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること。
- (2) 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること。
- (3) 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること。
- (4) その他教職員等の研修に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 高等教育研修センター長（第 5 条において「センター長」という。）
 - (2) 高等教育研修センター副センター長（第 5 条において「副センター長」という。）
 - (3) 文学部、教育学部、法学部、経済学部、文学研究科、法学研究科、教育学院、国際広報メディア・観光学院、経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (4) 理学部、工学部、農学部、水産学部、情報科学研究科、水産科学院、環境科学院、理学院、農学院、生命科学院、工学院、総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (5) 医学部、歯学部、薬学部、獣医学部、保健科学院、医学院、歯学院、獣医学院、医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから 若干名
 - (7) 総務企画部長
 - (8) 学務部長
 - (9) その他機構長が必要と認めた者
- 2 前項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員は、機構長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 前条第 1 項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。

(議事)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

(代理者)

第 7 条 第 3 条第 1 項第 3 号から第 6 号までの委員に事故があるときは、代理者を出席させることができる。

2 前項の代理者は、当該教育研究組織の教授又は准教授とする。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

第9条 委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター内規

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部組織運営内規第9条第2項の規定に基づき、北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、医学研究院（以下「本研究院」という。）において医学教育に関する研究開発を行うとともに、医学院（以下「本学院」という。）及び医学部医学科（以下「本学科」という。）における教育活動並びに国際交流について企画、立案及び調整等を行い、本研究院、本学院及び本学科の医学教育並びに国際交流の推進に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 医学教育についての研究開発並びに企画、立案及び実施等に関すること
- (2) 教育の評価システムについての研究開発に関すること
- (3) 医学教育についての情報収集及び解析に関すること
- (4) 共用試験（OSCE、CBT）の実施及び管理に関すること
- (5) 教員のFDについての企画及び実施に関すること
- (6) 本学科の医学英語に関する教育の企画、立案及び実施に関すること
- (7) 医学英語セミナーの企画、立案及び実施に関すること
- (8) 研究成果の国際的な発信の支援に関すること
- (9) 外国の大学との交流に関すること
- (10) 留学生の交流に関すること
- (11) 国際開発協力に関すること
- (12) 医学研究院・医学院・医学部医学科国際交流基金に関すること
- (13) その他医学教育についての研究開発及び推進並びに国際交流に関すること

(部門)

第4条 センターに、次に掲げる部門を置く。

- (1) 医学教育研究開発部門
- (2) 医学英語教育部門
- (3) 国際連携部門

(職員等)

第5条 センターに、センター長その他必要な職員を置く。

(センター長)

第6条 センター長は、医学研究院長（以下「研究院長」という。）をもって充てる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

(統括副センター長及び副センター長)

第7条 センターに、副センター長を5名置き、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) センターの教授
- (2) 研究院長が指名する副研究院長
- (3) 研究院長が指名する本研究院の教授（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員のうち、特任教授の職にある者を含む。） 3名
- 2 前項第1号の副センター長を、統括副センター長とする。
- 3 統括副センター長は、センター長の職務を助け、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 4 統括副センター長は、センター長の指揮の下に、センターの業務をつかさどる。
- 5 第1項第2号の副センター長は、医学英語教育及び国際連携の職務を担当するとともに、統括副センター長を補佐する。
- 6 第1項第3号の副センター長は、以下の職務を担当するとともに、統括副センター長を補佐する。

- (1) 基礎・社会医学教育担当
- (2) 内科系臨床医学教育担当
- (3) 外科系臨床医学教育担当

7 第1項第3号の副センター長の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部門長)

第8条 医学教育研究開発部門に部門長を置き、センターの教授をもって充てる。

2 医学英語教育部門に部門長を置き、前条第1項第2号の副センター長をもって充てる。

3 国際連携部門に部門長を置き、前条第1項第2号の副センター長をもって充てる。

(運営委員会)

第9条 センターに、センターの運営に関する重要事項を審議するため、運営委員会を置く。

2 運営委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教員の人事に関する事
- (2) 予算及び決算に関する事
- (3) 国際交流に関する事
- (4) センターの事業に関する事
- (5) センターの行事に関する事
- (6) その他センターに関する重要事項

3 運営委員会は、次に掲げる者をもって構成する。ただし、前項第1号に掲げる事項を審議する場合は、第1号から第5号までに掲げる者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) 統括副センター長
- (3) 副センター長
- (4) 医学科教務委員会委員長
- (5) 医学院教務委員会委員長
- (6) センターの教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員を含み、北海道大学大学院医学研究院教育助教制に関する内規（平成20年11月27日制定）第1条に定める教育助教及び助教を除く）
- (7) その他研究院長が必要と認めた者 若干名

4 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

5 運営委員会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

6 運営委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。

7 委員長が必要と認めたときは、運営委員会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

8 第2項に掲げる審議事項のうち、同項第3号の国際交流に関する事項については、次条に規定する専門委員会に審議を付託し、議決させることができる。

(専門委員会)

第10条 運営委員会に国際交流専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

2 専門委員会は、次の事項を審議し、議決する。

- (1) 外国の大学との交流に関する事
- (2) 留学生の交流に関する事
- (3) 国際開発協力に関する事
- (4) 国際交流関連予算に関する事
- (5) 医学研究院・医学院・医学部医学科国際交流基金に関する事
- (6) その他国際交流に関する事

3 専門委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 第7条第1項第2号の副センター長
- (2) センターの教授
- (3) その他センター長が必要と認めた者 若干名

- 4 前項第3号の委員の任期は2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 専門委員会に委員長を置き、第3項第1号の委員をもって充てる。
- 6 専門委員会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。
- 7 専門委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。
- 8 委員長が必要と認めたときは、専門委員会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 9 専門委員会は、審議結果等の活動状況について、適宜、運営委員会に報告するものとする。
(事務)

第11条 運営委員会及び専門委員会の庶務は、医学系事務部総務課において処理する。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

- 1 この内規は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センター内規（平成22年9月1日制定）は、廃止する。

附 則

- 1 この内規は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この内規の施行後、最初に任命される第10条第3項第3号の専門委員会委員の任期は、同条第4項本文の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。

北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター会議について

平成29年4月1日
医学教育推進センター長裁定

(目的)

1. 北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター（以下「センター」という。）において企画・立案された事業，行事等（以下この項において「事業等」という。）についての具体的な実施方策を検討し，センターと大学院医学研究院，大学院医学院，医学部医学科及び北海道大学病院との連携を図りながら事業等を実施することを目的として，センター会議を置く。

(構成員)

2. センター会議は，統括副センター長を委員長とし，次に掲げる者をもって構成する。
 - (1) 統括副センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 医学科教務委員会委員長
 - (4) 医学院教務委員会委員長
 - (5) 北海道大学病院臨床研修センターの専任教員 1名
 - (6) センターの教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員を含み，北海道大学大学院医学研究科教育助教制に関する内規（平成20年11月27日制定）第1条に定める教育助教及び助教を除く）
 - (7) その他センター長が必要と認めた者

付 記

- 1 この取扱いは，平成29年4月1日から実施する。
- 2 北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センターにおける教育企画実施委員会の設置について（平成23年5月2日医学教育推進センター長裁定）は，廃止する。

付 記

- 1 この取扱いは，平成30年4月1日から実施する。